

学則変更の趣旨等を記載した書類

1. 学則変更（収容定員変更）の内容

富山大学医学部医学科では、政府の緊急医師確保対策及び地域の医師確保等の方針に基づき、入学定員の臨時的な増員を、平成21年度から令和7年度まで継続して実施した。

令和7年度を期限とする10名の臨時入学定員増について、令和8年度も引き続き行うこととし、95名（恒久定員）から105名に変更する。この臨時定員増を踏まえると、収容定員は、595名（恒久定員）から605名となる。

2. 学則変更（収容定員変更）の必要性

地域医療に貢献する優れた人材を養成することは、昭和50年の富山医科薬科大学設立時からの使命であり、本学医学部医学科においては、地域の人々に貢献し、国際性を備えた医療人の育成を教育目標として、人材養成に努めている。

平成19年度入試から、新たに募集人員8人以内の推薦入試「地域枠」を導入したが、富山県における医師不足解消に更に貢献するため、平成21年度から、富山県との緊密な連携・協力により、地域定着策による臨時定員5人増に加え、「経済財政改革の基本方針2008」を受けた5人増を実施した。さらに、平成22年度から、「経済財政改革の基本方針2009」を踏まえ、地域の医師確保に早急に対応するため、富山県との緊密な連携・協力のもと、県内大学増員可能枠の最大となる臨時定員5人増を実施したが、依然として特定診療科の医師不足問題が解消しないことから、令和7年度まで継続して、10名の入学定員の増員を行っている。

富山県医療計画及び富山県医師確保計画（令和6年3月改訂）では、富山県が目指す医療提供体制の課題として、特定診療科の医師の確保・養成の必要性が挙げられており、今回、引き続き、令和8年度までの期限を付した入学定員増を行い、「富山県特別枠」を継続することにより、富山県全体での医師の充足を目指した総合的な医師確保対策の推進に寄与する。

3. 学則変更（収容定員変更）に伴う教育課程等の変更内容

本学は、高度の知識を授けるとともに、時代の要請と地域社会の要望に応える人材を輩出することで、医学の進展と社会の福祉に貢献してきた。

収容定員の変更は、令和7年度まで期限を付して実施した10名の臨時定員増を、令和8年度も引き続き行うものであるため、特段の教育課程等（教育方法・履修指導方法、教員組織及び大学全体の施設・設備を含む）の変更はなく、定員変更前の教育課程等と比較しても、同等の内容は担保している。

これを踏まえ、下記の（1）「地域医療」に関するカリキュラム（2）富山県との連携（3）地域医療への貢献等について実施する。

(1)「地域医療」に関するカリキュラム

専門教育科目については、一部の選択科目を除き、全て必修となっている。また、将来の医師育成のため、1年次に行う早期基礎臨床体験実習に始まり、医療学入門、介護体験実習等において、少人数グループによる実習、クラス全員で行う総合討論など、カリキュラムにおいて、勉学のモチベーションを高める工夫を取り入れている。なお、3年次では、社会医学系の講義において、地域医療に関する内容を取り込んでいるほか、4年次後半から実施する臨床実習において、地域中核病院での実習を取り入れ、地域医療の現場において実践的な教育を行っている。

※「地域医療」に関するカリキュラム概要

(1年次)

医療学入門 1単位 学内講義室及び福祉施設において実施。

・全体

豊かな人間性を持った「よき医療人」となるため、複数のユニットに分けて、基本的な医療倫理、ヒューマニズム並びにプロフェッショナリズム、良好な病者－医療者関係、医療と地域社会との関わりについて理解し、生涯にわたって自らの行動規範として実践できる姿勢を身に付け、病者の心を理解し、共感を持って温かく接することのできる医療人としての基本的態度を修得する。その中で、地域医療に関する内容は、次の4ユニットで行っている。

・ユニット1

医学部医学科、医学部看護学科、薬学部の全学生が横断的に参加し、将来、地域チーム医療を担う者が、共通の経験、認識を共有することで、「よき医療人」像をイメージできるようにするため、病者、障がい者や老人の介護を担っている方、薬害被害に関わられた方の語りを通して、病者－医療者の基本的信頼関係、病者の心理、欲求、行動、価値観、人生観を総合的に理解し、プロフェッショナル医療人として求められる義務と裁量権、人の命の守護者としての基本的態度、適切な支援を行うことができる態度、技能と知識を身につける。

・ユニット2

新入生医療学研修

プロフェッショナリズム教育の一環として、医学薬学の教育理念を学び、協力、相互の規律正しい集団活動を通して、学生教職員間の交流親睦を深め、今後の学生生活を豊かにすることを目的として実施する。

心肺蘇生講習会

近隣消防署やボランティアの協力により、医、薬、看護学生のグループによる心肺蘇生法講習（普通救命講習Ⅰ）を行う。

- ・ユニット3

全人的医療を推進できる医療者となるため、医療と社会との関係を理解する。

- ・ユニット4

プライマリケアにとって重要な医療と福祉の連携を、要介護者の福祉施設での1週間の介護体験を通して理解する。

(3年次)

- ・環境保健学 1単位 学内講義室において実施。

社会と健康・疾病との関係や地域医療について理解し、個人及び集団をとりまく環境要因の変化による人の健康と社会生活への影響について学ぶ。

- ・疫学 1単位 学内講義室において実施。

疫学一般について学修するとともに、教員が実行委員として参画した疫学調査（富山県認知症高齢者実態調査）の経験やデータに基づき、富山県の認知症の実態、将来予測、対策について学ぶ。

- ・富山医療学 1単位 学内講義室において実施。

国の保健・医療・福祉と介護の制度（母子保健、老人保健、精神保健、学校保健、医療関連法規）を学修するとともに、富山県医師会や全国健康保険協会富山支部、富山県の協力を得て、国の制度と比較しつつ、富山県の保健・医療・福祉と介護の現状や課題及び今後について学ぶ。

(4年次～6年次)

- ・臨床実習

総合診療科における臨床実習において、地域医療に関するレクチャーを行うほか、豊富な臨床例を持つ富山県内を中心とする9の地域中核病院で、1週間の地域医療実習を行い、プライマリケアや病診連携・病病連携、在宅医療などを体験する。

(5年次～6年次)

- ・選択制臨床実習

附属病院で16週間、富山県内を中心とする14の地域中核病院で8週間、計24週間のクリニカル・クラークシップを実施する。

(2) 富山県との連携

富山県においては、地域医療の課題解決に必要な医師を確保するため、富山大学と連携の一つである、医療従事者の確保・養成を行うため、卒後一定期間の地域医療等の従事を条件とする奨学金を設定した。この奨学金は、総合型選抜「富山県特別枠」で入学した学

生を対象としている。

総合型選抜「富山県特別枠」の出願資格及び要件については、富山県内の高等学校等を卒業見込みの者もしくは卒業後2年以内の者又は出願時に富山県在住で2年以内に高等学校卒業認定試験に合格した者を対象とし、かつ、医師免許取得後、富山県内で一定期間診療に従事することを確約することとしており、特段の事情がない限り、卒業後、富山県内での診療に従事することが見込まれる。

奨学金の内容は、下記のとおりである。

※奨学金の概要

・名 称

富山県地域医療確保修学資金貸与制度

・貸与額

修 学 費： 100,000円（月額）

入学料相当額： 282,000円

授業料相当額： 535,800円（年額）

6年間総支給額： 10,696,800円

・返還免除の条件

富山大学を卒業後、医師となり、別に定めるキャリア形成プログラムに基づき、その後指定された臨床研修病院で、臨床研修を2年間行った後、知事が貸与生ごとに指定する医療機関において、地域医療に必要な診療科で、9年間診療に従事した場合、返還を免除する。

・支給対象

総合型選抜「富山県特別枠」の入学者全員を対象とする。

・選抜方法

①出願要件

次の（１）、（２）いずれかに該当し、かつ、（３）から（６）までのすべてに該当する者

（１）富山県内の高等学校、特別支援学校の高等部又は高等専門学校３年次を卒業（修了）見込みの者又は卒業（修了）後２年以内の者

（２）出願時に富山県在住で、２年以内に高等学校卒業程度認定試験に合格した者

（３）医師免許取得後、一定期間富山県内で診療に従事することを確約できる者

（４）富山県内の地域医療に貢献するという強い意志を有する者

（５）大学入学共通テストの国語、地理歴史・公民、数学、理科、外国語及び情報を受験する者

（６）合格した場合に入学を確約できる者

②選抜方法

・志願者が提出した自己推薦書及び調査書、試験当日に課す小論文と面接の結果並

びに大学入学共通テストの成績を総合して選抜を行う。

- ・ 本学医学部医学科が課す大学入学共通テストの合計得点が70%未満の場合は、合格の対象としない。(ただし、平均点が大きく変動した場合は変更することがある。)

(3) 地域医療への貢献

医学部教育とともに、卒業後の専門医研修を通して、地域医療に対する使命感を持ち、高度な知識・技術を有する専門医や幅広く病気を診ることのできる総合医の養成を目指す。さらに、高校訪問やアカデミックインターンシップの実施を通して、富山県内の高校生等の意欲と関心を高めるとともに、地域医療に従事することを前提とする奨学金と地域枠の継続により、引き続き、県内医師不足分野の医師養成を行い、県内医療機関への定着を図る。

4. 2以上の校地において教育研究を行う場合の具体的計画

医学部医学科の主たるキャンパスは、杉谷キャンパスとなる。ただし、本学においては、五福キャンパスで、教養教育科目を開講しているため、1年次の教育は、専門教育科目を含めて五福キャンパスで実施する。

両キャンパスは、直線距離で約5kmであり、移動手段はバスで約20分、自動車では約10分となっている。

学生は、1年間を通して、五福キャンパスもしくは杉谷キャンパスのいずれかのみで授業を履修するため、キャンパス間の移動は生じない。1年次に五福キャンパスで開講する専門教育科目については、杉谷キャンパスからの教員の移動時間を考慮し、時間割を設定している。

令和 8 年度
医学部入学定員増員計画

富大杉学 1 1 4 号
令和 7 年 8 月 2 0 日

文部科学省高等教育局長 殿

国立大学法人富山大学長
齋 藤 滋

「地域の医師確保等の観点からの令和 8 年度医学部入学定員の増加について（令和 7 年 8 月 5 日文部科学省高等教育局長・厚生労働省医政局長通知）」を受けて、標記に関する資料を提出します。

< 連絡先 >

責任者連絡先	職名・氏名	杉谷地区事務部学務課
	TEL	
	E-mail	

大学名	国公立
富山大学	国立

1. 現在（令和7年度）の入学定員（編入学定員）及び収容定員

入学定員	2年次編入学定員	3年次編入学定員	収容定員
105	5	0	655



（収容定員計算用）

	R2	R3	R4	R5	R6	R7	計
(ア) 入学定員	105	105	105	105	105	105	630
(イ) 2年次編入学定員	5	5	5	5	5	0	25
(ウ) 3年次編入学定員							0
計	110	110	110	110	110	105	655

2. 本増員計画による入学定員増を行わない場合の令和8年度の入学定員（編入学定員）及び収容定員

入学定員	2年次編入学定員	3年次編入学定員	収容定員
95	5	0	595



（収容定員計算用）

	R8	R9	R10	R11	R12	R13	計
(ア) 入学定員	95	95	95	95	95	95	570
(イ) 2年次編入学定員	5	5	5	5	5	0	25
(ウ) 3年次編入学定員							0
計	100	100	100	100	100	95	595
（臨時的な措置で減員した場合、その人数）							

3. 令和8年度の増員計画

入学定員	2年次編入学定員	3年次編入学定員	収容定員
105	5	0	605



（収容定員計算用）

	R8	R9	R10	R11	R12	R13	計
(ア) 入学定員	105	95	95	95	95	95	580
(イ) 2年次編入学定員	5	5	5	5	5	0	25
(ウ) 3年次編入学定員							0
計	110	100	100	100	100	95	605
（臨時的な措置で減員した場合、その人数）							

増員希望人数 10



（内訳）

(1) 地域の医師確保のための入学定員／編入学定員増（地域枠）	10
(2) 研究医養成のための入学定員／編入学定員増（研究医枠）	
計	10

地域の医師確保のための入学定員増について

増員希望人数	10
--------	----

(1) 対象都道府県名及び増員希望人数

	都道府県名	増員希望人数
大学が所在する都道府県	富山県	10
大学所在地以外の都道府県		
計		10

※「大学所在地以外の都道府県」が5都道府県未満の場合は、残りの欄は空欄でご提出ください。

(2) 修学資金の貸与を受けた地域枠学生の確保状況

都道府県名	R6地域枠定員 (※1)	R6貸与者数 (※2)	R7地域枠定員 (※1)	R7貸与者数 (※2)	R6とR7の貸与者数のうち多い方の数
富山県	10	12	10	12	12
					0
					0
					0
					0
					0
計	10	12	10	12	12

(※1) 臨時定員分のみご記入ください。

(※2) 恒久定員の中で地域枠を実施している場合、恒久定員分の地域枠の人数も含めた修学資金の貸与実績をご記入ください。

※6都道府県未満の場合は、残りの欄は空欄でご提出ください。

(3) 令和8年度地域の医師確保のための入学定員増について

1. 大学が講ずる措置

1-1. 地域枠学生の選抜

① 令和6年度に実施した地域枠学生（令和7年入学）の選抜について、下記をご記入ください。複数種類の選抜を行った場合には、それぞれご記入ください。また、参考として学生募集要項の写しをご提出ください。

名称	入試区分	選抜方式	募集人数		選抜方法（※1）	出願要件（※1）	診療科の選定の有無	（診療科の選定がある場合）その診療科名	開始年度	備考
				うち臨時定員分						
医学部医学科 総合型選抜 「富山県特別枠」	(ii) 総合型選抜	別枠（先行型）	10	10	①入学者の選抜は、大学入学共通テスト、書類審査（自己推薦書、調査書）、小論文及び面接の結果を総合して行う。 ただし、小論文又は面接において、0点の場合は、合格の対象としない。 ②本学医学部医学科が課す大学入学共通テストの合計得点が70%未満の場合は、合格の対象としない。（ただし、平均点が大きく変動した場合は変更することがある。） 【配点】 書類審査・面接150点、小論文100点、大学入学共通テスト※1000点、合計1250点 ※【大学入学共通テストの利用教科・科目及び配点】 〈6教科8科目〉	次の(1)、(2)いずれかに該当し、かつ、 ①から④までのすべてに該当する者 (1) 富山県内の高等学校、特別支援学校の高等部又は高等専門学校の3年次を令和7年3月31日までに卒業（修了）見込みの者又は卒業（修了）後2年以内の者 (2) 出願時に富山県在住で、令和5年4月以降に高等学校卒業程度認定試験に合格した者 ① 富山県地域医療確保修学資金を受給し、医師免許取得後、一定期間（「富山県地域医療確保修学資金貸与制度」の規定による。）、富山県内で診療に従事することを確約できる者 ② 富山県内の地域医療に貢献する強い意志を有する者	有（義務）	小児科、外科（※1）、産科、麻酔科、救急科、総合診療科、脳神経外科、感染症内科（※2） ※1「外科」は、新専門医制度の基本領域における「外科」のみを指し、整形外科及び形成外科は含まない。基本領域「外科」	R4	特別選抜（自己推薦入試「富山県特別枠」）を令和3年度（令和4年入学）から名称を総合型選抜「富山県特別枠」に変更
合計			10	10						

(※1) 貴大学において作成した学生募集要項に記載の内容をご記入ください。

※該当がない場合は、何も記入せずにご提出ください。

②令和7年度に実施する地域枠学生（令和8年入学）の選抜について、下記をご記入ください。複数種類の選抜を行う場合には、それぞれご記入ください。
また、参考としてPRのために作成した文書（リーフレット、ホームページ、テレビ、新聞、雑誌等）の写しをご提出ください。

名称	入試区分	選抜方式	募集人数		選抜方法（※1）	出願要件（※1）	診療科の選定の有無	（診療科の選定がある場合）その診療科名	開始年度	備考
				うち臨時定員分						
医学部医学科 総合型選抜 「富山県特別枠」	（ⅱ）総合型選抜	別枠（先行型）	10	10	①入学者の選抜は、大学入学共通テスト、書類審査（自己推薦書、調査書）、小論文及び面接の結果を総合して行う。 ただし、小論文又は面接において、0点の場合は、合格の対象としない。 ②本学医学部医学科が課す大学入学共通テストの合計得点が70%未満の場合は、合格の対象としない。（ただし、平均点が大きく変動した場合は変更することがある。） 【配点】 書類審査・面接150点、小論文100点、大学入学共通テスト※1000点、合計1250点 ※【大学入学共通テストの利用教科・科目及び配点】 （6教科8科目）	次の①、②いずれかに該当し、かつ、③から④までのすべてに該当する者 ① 富山県内の高等学校、特別支援学校の高等部又は高等専門学校の3年次を令和8年3月31日までに卒業（修了）見込みの者又は卒業（修了）後2年以内の者 ② 出願時に富山県在住で、令和6年4月以降に高等学校卒業程度認定試験に合格した者 ③ 富山県地域医療確保修学資金を受給し、医師免許取得後、一定期間（「富山県地域医療確保修学資金貸与制度」の規定による。）富山県内で診療に従事することを確約できる者 ④ 富山県内の地域医療に貢献する強い意思を有する者	有（義務）	小児科、外科（※1）、産科、麻酔科、救急科、総合診療科、脳神経外科、感染症内科（※2） ※1「外科」は、新専門医制度の基本領域における「外科」のみを指し、整形外科及び形成外科は含まない。基本領域「外科」	R4	
合計			10	10						

（※1）貴大学において、PRのために作成した文書（リーフレット、ホームページ、テレビ、新聞、雑誌等）に記載の内容（貴大学において作成予定の学生募集要項に記載予定の内容）をご記入ください。
※該当がない場合は、何も記入せずに提出ください。

1-2. 教育内容

①地域枠学生が卒業に勤務することが見込まれる都道府県での地域医療実習など、地域医療を担う医師養成の観点からの教育内容の概要（令和8年度）について、5～6行程度で簡潔にご記入ください。

1年次には「医療学入門」において地域の高齢者施設等で「介護体験実習」を行い、地域の保健・医療・福祉・介護の現場を体験学習する。3年次の「環境保健学」や「富山医療学」で、地域における保健・医療・福祉・介護の現状と課題や関連する法制度の学習をする。4年次後半からの臨床実習では、富山県内の病院等で、救急医療、在宅医療、プライマリケア等の地域医療全般を学習する。	（参考：記入例） 1～2年次には、「○○○」という科目を講読するとともに「△△」を必修化し、～～を学んでいる。3～4年次には、××実習を行い、～～を学んでいる。令和8年度からは、■●を新たに開始するなど、～～を図ることとしている。
--	--

②（過去に地域枠を設定したことがある場合）これまでの取組・実績を、3～5行程度で簡潔にご記入ください。

地域定着の取組みとして、6年間を通じた地域医療に関するガリケラムを実施している。また、地域枠に限らず県内高校出身率を高めるための取組みとしては、県内高校訪問やアカデミック・インターンシップ等の高大連携を充実させている。また、地域枠・特別枠学生と大学教員との人間関係や信頼関係を強固なものにするために定期的に	（参考：記入例） 平成○年度から地域枠による増員を開始し、□□、■●などの取組を行ってきた。令和7年度までに△名の地域枠学生を確保し、そのうち▲名が現在～～として地域医療に貢献している。
---	--

③上記①の教育内容（正規科目）について、講義・実習科目内容をご記入ください。また、参考としてシラバスの写しをご提出ください。

対象学年	講義・実習名	対象者（※1）	必修／選択の別		講義・実習の別	単位数	開始年度
			地域枠学生	その他の学生			
1年生	医療学入門	全員	必修	必修	実習	1	H21以前
3年生	環境保健学	全員	必修	必修	講義	1	H21以前
3年生	疫学	全員	必修	必修	講義	1	R4
3年生	救急・災害医学	全員	必修	必修	実習	1	H21以前
3年生	富山医療学	全員	必修	必修	講義	1	H30
4年生	社会医学実習	全員	必修	必修	講義	1	H21以前
4から6年生	臨床実習（総合診療科）	全員	必修	必修	実習	2	H21以前
4から6年生	臨床実習（救急科）	全員	必修	必修	実習	2	H21以前
4から6年生	臨床実習（地域医療）	全員	必修	必修	実習	1	H21以前
5から6年生	選択制臨床実習	全員	必修	必修	実習	12	H21以前

（※1）対象者は、当該講義・実習を受講可能な学生を「地域枠学生」「全員」のうちから選択ください。（地域枠学生の希望者のみの場合は、対象者を「地域枠学生」、必修／選択の別を「選択」とご記載ください。）
※該当がない場合は、何も記入せずに提出ください。

④大学の正規科目以外で、提供する地域医療教育プログラムがあれば、その内容をご記入ください。

対象学年	プログラム名	対象者（※1）	都道府県との連携	期間（例：○週間）	プログラムの概要（1～2行程度）	開始年度
1～6年	特定診療科キャリアパスガイダンス	地域枠学生	富山県が大学に設置する地域医療総合支援学講座で実施	年3回	富山県特別枠の特定診療科（選択できる診療科）のキャリア形成について、先輩医師から情報を提供するセミナー	H29
1～6年	富山県特別枠の集い	地域枠学生	富山県が大学に設置する地域医療総合支援学講座で実施	年1回	富山県特別枠出身の先輩医師による講演と学生との懇話会	H29
主に1年	地域枠・富山県特別枠新入生歓迎会	地域枠学生	富山県が大学に設置する地域医療総合支援学講座で実施	年1回	医学部長・病院長・特定診療科の医師による地域医療へのモチベーション形成のための歓迎会	H29
1～6年	とやま医療未来	全員	富山県が大学に設置する地域医療総合支援学講座で実施	年3回	富山の地域医療に携わる医師を養成するためのセミナー	R4
1～6年	地域医療体験プロジェクト	地域枠学生	富山県が大学に設置する地域医療総合支援学講座で実施	数日～2週間程度	学生が自ら経験したい地域医療のフィールド（地域や診療施設）を決め、自由に計画を立てて地域医療を体験	R5

（※1）対象者は、当該講義・実習を受講可能な学生を「地域枠学生」「全員」のうちから選択ください。
※該当がない場合は、何も記入せずに提出ください。

取組の名称	取組の概要（1～2行程度）	開始年度
ザマースクール	富山大学医学科3年次の地域枠学生等と新潟大学医学科3年次の地域枠学生等が合同でフィールドワークを行い、地域医療や多職種連携等について学修する。	R5

※該当がない場合は、何も記入せずにご提出ください。

2. 都道府県等との連携等

①都道府県が設定する奨学会について、以下をご記入ください。併せて、都道府県が厚生労働省に提出する予定の地域の医師確保等に関する計画及び「地域における医療及び介護の総合的な確保の促進に関する法律」（平成元年法律第64号）第4条に規定する都道府県計画等に位置づけることを約束する文書を添付して下さい。

なお、複数の奨学金を設定している場合は、それぞれ記入ください。

[illegible]

(※1) 診療科の限定または推奨がある場合は、備考欄に詳細をご記入ください。

※該当がない場合は、何も記入せずにそのままご提出ください。

②その他、都道府県と連携した取組があれば、簡潔にご記入ください。(1～2行程度)

取組の名称	取組の概要（1～2行程度）	開始年度
富山県特別枠学生との個別面談	富山県特別枠学生（5～6年生）の個別面談（相談・進路指導）を1年1回実施（富山大学教員と富山県担当者らが連携して実施）	H29
富山県特別枠卒業生との個別面談	富山県特別枠を卒業した初期研修医に対して個別面談（相談・進路指導）を年1回実施（富山大学教員と富山県担当者とが連携して実施）	R1

※該当がない場合は、何も記入せずにご提出ください。

3. 在学中の地域枠学生に対する大学の相談・指導、卒後のキャリアパス形成等に対する支援

在学中の地域枠学生に対する大学の相談・指導、卒後のキャリアパス形成等に対する支援についてご記入ください。（都道府県と連携した取組を含む）（1～2行程度）

取組の名称	取組の概要（1～2行程度）	開始年度
富山県特別枠学生との個別面談	富山県特別枠学生生全員（5～6年生）の個別面談（相談・進路指導）を年1回実施（富山大学教員と富山県担当者が連携して実施）【再掲】	H29
富山県特別枠卒業生との個別面談	富山県特別枠卒を卒業した初期研修医に対して個別面談（相談・進路指導）を年1回実施（富山大学教員と富山県担当者が連携して実施）【再掲】	R1

※該当がない場合は、何も記入せずにご提出ください。

4. その他

1～3に記入したもの以外で、その他、地域の医師確保の観点から大学の今後の取組があれば、簡潔にご記入ください。（1～3行程度）

特に、都道府県からの奨学金の貸与を受ける者、地域枠入学者を確保するために貴大学で取り組まれていることや今後の取組予定がありましたら、ご記入ください。

令和元年度から、これまで富山県特別枠学生にのみ行ってきた定期面談を、地域枠学生（富山県からの奨学金支給がない推薦入試で選抜された学生）も一緒に、クラス担当教員や地域医療関係教員の指導のもと、地域定着のための定期面談を実施することにした。

令和 7 年度

学 生 募 集 要 項

〈 総 合 型 選 抜 〉

医 学 部 医 学 科

「富山県一般枠」

「富山県特別枠」

富 山 大 学

UNIVERSITY OF TOYAMA

この学生募集要項は、医学部医学科総合型選抜用です。
医学部医学科学校推薦型選抜「地域枠」により志願する場合は、別途公表の学生募集要項（学校推薦型選抜 帰国生徒選抜 社会人選抜）を入手し、出願してください。

不測の事態により、試験時間等本学生募集要項の内容を変更する必要がある場合は、
本学ウェブサイトでお知らせいたしますので、最新の情報を必ず確認してください。

富山大学ウェブサイト <https://www.u-toyama.ac.jp/admission/>

医学部医学科の総合型選抜「富山県特別枠」の実施について（お知らせ）

「地域の医師確保等の観点からの令和7年度医学部入学定員の増加について（令和6年8月7日付け文部科学省高等教育局長並びに厚生労働省医政局長通知）」に基づき、10人の入学定員増が認められたため、令和7年度入学者選抜において、以下のとおり、総合型選抜「富山県特別枠」を実施します。令和8年度入学者選抜以降の「富山県特別枠」の実施は未定です。

目 次

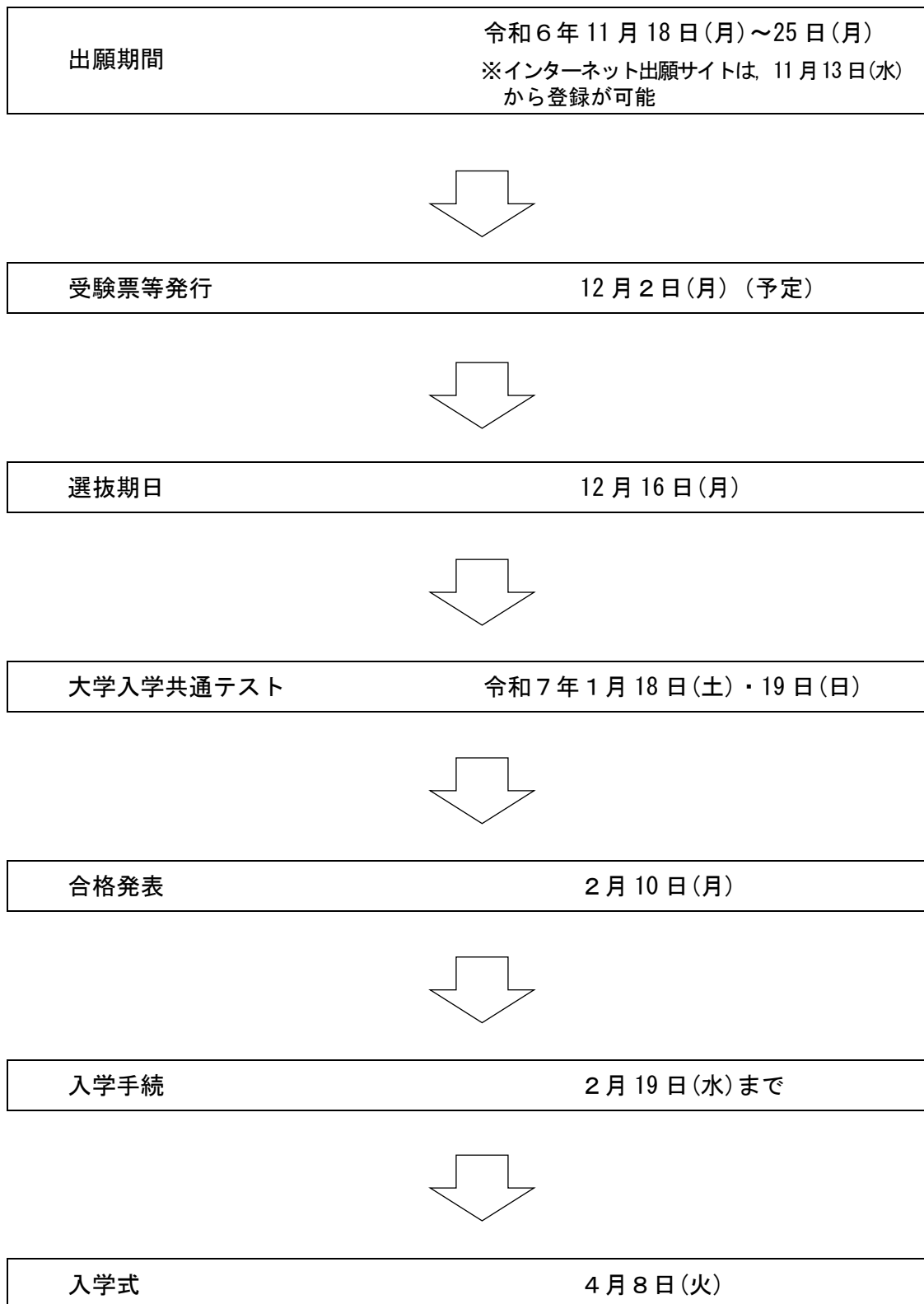
富山大学入学者選抜日程の概要（医学部医学科総合型選抜「富山県一般枠」、「富山県特別枠」）	1
1 入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）	2
2 学生募集の趣旨	3
3 募集人員	3
4 出願資格及び出願要件	3
5 出願方法及び出願期間	5
6 出願手続	6
7 選抜方法及び選抜期日等	13
8 合格者発表	14
9 出願上の注意事項	14
10 安全保障輸出管理について	15
11 障害等のある入学志願者の事前相談	15
12 受験票及び受験上の注意事項の印刷	16
13 試験当日の注意事項	16
14 入学手続	18
15 本選抜の入学辞退	18
16 一般選抜への出願	18
17 志願者等の個人情報の取扱い	18
18 入試情報開示	19
○試験場案内図	20
○入試情報ウェブサイト	21
○「入試過去問題活用宣言」への参加について	21
添付書類	
入学志願票（総合型選抜）＜見本＞	23
宛名シート＜見本＞	24
出願書類確認表（チェックリスト）（出願書類ではありません）	25
大学入学共通テスト受験教科・科目確認表[総合型選抜]（出願書類ではありません）	26
自己推薦書	29
確約書	31
検定料返還請求書（出願書類ではありません）	35

【お知らせ】

- ・ 本学への出願にはインターネットによる出願登録及び書類の郵送が必要となります。インターネット出願の流れは6ページを参照してください。なお、冊子体の学生募集要項（入学志願票等を含む。）は配付していません。
- ・ 令和8年度以降の入学者選抜方法の変更（予告）内容については、本学ウェブサイトの入試情報ページを確認してください。なお、今後も必要に応じてウェブサイトの更新を行います。

富山大学入学者選抜日程の概要

医学部医学科総合型選抜「富山県一般枠」,「富山県特別枠」



1 入学者受入れの方針（アドミSSION・ポリシー）

富山大学 入学者受入れの方針

富山大学は、本学が掲げる教育理念、卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）に基づき、人文科学、社会科学、自然科学、生命科学、保健医療及び芸術文化の各分野に高い関心を持ち、幅広く豊かな教養と専門的な知識や技術を活かして、地域と国際社会に貢献しようとする高い志を持つ者を受け入れる。

そのため入学者選抜の基本方針として、複数の受験機会や多様な学生を評価できる入試を提供する。

医学部医学科

【入学者受入れの方針】

生命の尊厳を理解し、医療人として不可欠な倫理観と温かい人間性、専門性を備え、専門的知識及び技能を生涯にわたって維持し向上させる自己学習の習慣を持ち、国際的視野に立って医学、医療の発展、及び地域医療等の社会的ニーズに対応できる人材を求める。

【入学者選抜の基本方針（入試種別とその評価方法）】

■総合型選抜

高等学校等での学修の達成度をみるために大学入学共通テストを課す。本学で課す「面接」と「小論文」により、課題を解決しようとする意欲とコミュニケーション能力に加えて、社会への関心、とくに地域社会への関心と意欲を評価する。

【入学者選抜方法における重点評価項目一覧】

（「○」は重点的に評価する要素）

入試区分	選抜方法	知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度
総合型選抜Ⅱ	大学入学共通テスト	○	○	
	書類審査（自己推薦書、調査書）	○	○	○
	小論文	○	○	
	面接		○	○

【入学前に学習すべきこと】

医学科では、自然科学系に加え、医療情勢に関する関心やコミュニケーション能力が要求されるため、入学までに、化学、物理学、生物学、数学、語学の基礎学力を付けておくとともに、医療を取り巻く社会情勢を学んでおくことが望ましい。

入学者受入れの方針（アドミSSION・ポリシー）のほか、教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）及び卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）については、本学ウェブサイトをご覧ください。

（本学トップページ）→「大学紹介」→「三つのポリシー」→「学士課程の三つのポリシー」

2 学生募集の趣旨

富山大学医学部医学科では、「社会から信頼される優れた医療人の育成」を目指し、全人的医療にたった患者本位の医療、高度先進医療、チーム医療に貢献できる医師の養成並びに地域医療に貢献できる医師の養成等を教育目標に掲げています。

近年、急速な少子高齢化の進行に併せ、富山県においては県民の医療ニーズが高度化・多様化しています。その一方で、特に地方から都市部への医師の流出等により、県内地域の医療機関や特定の診療科の医師不足が極めて深刻化している状況にあります。全国どこでも一定水準以上の医療を受けることができたこれまでのシステムが、医師不足により地方においては危うくなってきています。

このことから、富山大学として富山県内の医師不足を打開するため、富山県及び県内医療機関等とも緊密な連携・協力を図りつつ、将来、県内の地域医療を担う人材を育成する観点から、入学志願者の能力・適性や学習に対する意欲、目的意識等を総合的に判定する入学者選抜として総合型選抜を実施します。

3 募集人員

「富山県一般枠」10人

「富山県特別枠」10人

選抜の結果、「富山県一般枠」の募集人員に欠員が生じた場合は、その欠員は一般選抜（前期日程）の募集人員に加えます。

4 出願資格及び出願要件

次の(1)、(2)のいずれかに該当し、かつ、①から④まですべてに該当する者

- (1) 富山県内の高等学校、特別支援学校の高等部又は高等専門学校の3年次を令和7年3月31日までに卒業（修了）見込みの者又は卒業（修了）後2年以内の者
- (2) 出願時に富山県在住で、令和5年4月以降に高等学校卒業程度認定試験規則による高等学校卒業程度認定試験に合格した者

「富山県一般枠」

- ① 卒業後は、富山大学附属病院を基幹施設とする研修プログラムで、2年間の初期研修を含む3年間の臨床研修に従事することを確約できる者
- ② 富山県内の地域医療に貢献するという強い意志を有する者
- ③ 令和7年度大学入学共通テストの国語、地理歴史・公民、数学、理科、外国語及び情報を受験する者
- ④ 合格した場合に入学が確約できる者

「富山県特別枠」

- ① 富山県地域医療確保修学資金を受給し、医師免許取得後、一定期間（「富山県地域医療確保修学資金貸与制度」の規定による。）、富山県内で診療に従事することを確約できる者
- ② 富山県内の地域医療に貢献するという強い意志を有する者
- ③ 令和7年度大学入学共通テストの国語、地理歴史・公民、数学、理科、外国語及び情報を受験する者
- ④ 合格した場合に入学が確約できる者

「富山県特別枠」は「地域の医師確保等の観点からの医学部入学定員の増加について（令和6年8月7日付け文部科学省高等教育局長並びに厚生労働省医政局長通知）」に基づく措置であり、入学者は富山県の「富山県地域医療確保修学資金貸与制度」による修学資金が貸与されることから、将来、富山県の医療を担うことを前提として選抜を実施します。

【富山県地域医療確保修学資金貸与制度の概要】

富山県では、総合型選抜「富山県特別枠」の入学者全員を対象として、医師免許取得後、一定期間、地域の医療機関への勤務を条件とする修学資金貸与制度を設けています。

(1) 貸与額

入学料相当額 富山大学の入学料に相当する額

授業料相当額 富山大学の授業料に相当する額

修学費 月額 10 万円

(2) 返還免除要件

富山大学に入学後、別に定めるキャリア形成卒前支援プラン^(※1)の適用を受けることに同意の上、卒業後は、キャリア形成プログラム^(※2)に基づき、その後指定された臨床研修病院で臨床研修（医師法第 16 条の 2 第 1 項に規定する研修）を 2 年間行った後、知事が貸与生ごとに指定する医療機関において、地域医療に必要な診療科（小児科、外科^(※3)、産科、麻酔科、救急科、総合診療科、脳神経外科、感染症内科^(※4)）で、9 年間^(※5)（修学資金貸与期間の 1.5 倍）診療に従事した場合、返還を免除します。（返還免除の条件を満たさない場合は、貸与額に所定の利率を乗じて得た額を返還していただきます。）

※1 キャリア形成卒前支援プランとは、大学や医療機関等と連携し、学生の地域医療等の意識の涵養を図るためのプロジェクト（卒前支援プロジェクト）です。

※2 キャリア形成プログラムとは、「富山県特別枠」で入学し、卒業後、医師免許を取得した者を対象として、地域医療に従事する医師のキャリア形成上の不安解消、医師不足地域・診療科の解消を目的として、富山県が主体となり策定された医師の就業に係るプログラムです。

※3 「外科」は、新専門医制度の基本領域における「外科」のみを指し、整形外科及び形成外科は含みません。基本領域「外科」を修了した後、サブスペシャリティ領域の専門分野に従事する場合は、「呼吸器外科、消化器外科、乳腺外科、小児外科」を返還免除の対象とします。

※4 基本領域「内科」を修了した後、サブスペシャリティ領域「感染症」の専門分野に従事する場合を対象とします。その場合に限り、修学資金の返還を免除します。（基本領域「内科」を修了後、感染症の専門分野に従事しなかった場合、基本領域「内科」の従事期間も返還免除の対象とはなりません。）

※5 返還免除に必要な期間は、臨床研修の 2 年間に診療従事の 9 年間を加えた 11 年間となります。

(3) 診療科、研修期間の取扱い

① 卒業後の診療科に関しては、臨床研修を行った後、富山県及び富山大学と協議を行いながら、地域医療において必要な複数の診療科（小児科、外科^(※3)、産科、麻酔科、救急科、総合診療科、脳神経外科、感染症内科^(※4)）の中から選択していただきます。

② 臨床研修を 2 年間行った後、知事が指定する医療機関において、9 年間診療に従事していただきますが、富山大学附属病院や富山県立中央病院等の県内医療機関において、知事が認める研修（専門研修等）を受ける期間は、診療に従事すべき 9 年間に含めます。なお、9 年間のうち、医師多数区域（富山市）以外の指定された医療機関等に 4 年間以上勤務することとします。

(4) その他

① 修学資金貸与申請には、連帯保証人（予定）を 2 人（1 人は父母等、1 人は父母等以外の家計を別にする者とし、連帯保証人には県内出身者が含まれることが望ましい。）立てなければなりません。

② 修学資金貸与制度については、富山県のウェブサイトに記載しますので、確認してください。

(5) 問い合わせ先

富山県厚生部医務課医師・看護職員確保対策係 TEL (076) 444-3218（直通）

【その他の修学資金について】

富山県では、総合型選抜「富山県特別枠」以外の入学者に対しても、将来、富山県内の地域医療に貢献する意志のある医学生を対象とした修学資金制度を設けています。

詳細は富山県のウェブサイトを参照してください。

富山県地域医療再生修学資金貸与制度

<https://www.pref.toyama.jp/1204/kurashi/kenkou/iryou/kj00011685/kj00011685-004-01.html>

5 出願方法及び出願期間

出願はインターネット出願のみとします。出願手続は、インターネット出願サイトでの出願登録及び検定料の支払いを行った後、次の出願期間内に必要な書類等を書留速達郵便で郵送することにより完了します。6 ページ以降の出願手続を参照し、手続きを行ってください。

出願期間

令和6年11月18日(月)～25日(月) 17時までに必着のこと。

インターネット出願の登録と検定料の納入は、11月13日(水) 9時から可能です。

出願に必要な書類(11～12ページ)は出願期間内に必着するように書留速達郵便で郵送してください。持参による出願は認めません。郵便事情を考慮して余裕をもって郵送してください。

出願期間後に到着したものは受理しないので注意してください。

ただし、11月24日(日)以前の消印(日本国内の郵便の消印に限る。)のある書留速達郵便に限り、出願期間以降に到着した場合でも受理します。

なお、書留速達郵便で送付した出願封筒について、本学への到着(配達)の有無の問い合わせには応じません。日本郵便ウェブサイトの「郵便追跡サービス」により、志願者本人が確認してください。

6 出願手続

出願はインターネット出願のみとします。出願手続は、インターネット出願サイトでの出願登録及び検定料の支払いを行った後、出願期間内に必要な書類等を書留速達郵便で郵送することにより完了します。以下の「インターネット出願の流れ」をよく読み、手続を行ってください。

インターネット出願の流れ



事前準備

10 ページを参照してください。

インターネットに接続されたパソコン、プリンターなどを用意してください。

必要書類※は、発行まで時間を要する場合があります。早めに準備を始め、出願前には必ず手元にあるようにしておいてください。

※必要書類…調査書、写真データ、大学入学共通テスト成績請求票など



インターネット出願サイトにアクセス

インターネット
出 願 サイト

▶ <https://e-apply.jp/ds/toyama-u/>

または、

大学ウェブサイト
からアクセス

▶ <https://www.u-toyama.ac.jp/>



出願はインターネット出願サイトでの登録完了後（STEP2）、検定料を支払い（STEP3）、必要書類を印刷・郵送（STEP4、STEP5）して完了となります。登録しただけでは出願は完了していませんので注意してください。

インターネット出願は24時間可能です。ただし、出願書類は出願期間最終日17時必着です。ゆとりを持った出願を心がけてください。

STEP

1

マイページの登録

画面の手順に従って、必要事項を入力してマイページ登録を行ってください。
なお、マイページの登録がお済みの方は、STEP2に進んでください。



①初めて登録する方は
マイページ登録 から
ログインしてください。



②メールアドレスの登録を行って
仮登録メールを送信 を
クリックしてください。



③ユーザー登録画面から
ログインページ を
クリックしてください。



④登録したメールアドレスに
初期パスワードと
本登録用URLが届きます。
※@e-apply.jpのドメインからのメール
を受信できるように設定してください。



⑤ログイン画面から
登録したメールアドレスと④で
届いた『初期パスワード』にて
ログイン を
クリックしてください。



⑥初期パスワードの変更を
行ってください。



⑦表示された個人情報を入力して
次へ を
クリックしてください。



⑧個人情報を確認して
この内容で登録する を
クリックしてください。



⑨登録完了となります。
「**マイページへ**」を
クリックしてください。



⑩上記ページが表示されたら
マイページ登録は完了です。

※出願受付中の場合のみ、「**出願手続きを行う**」ボタンをクリックすると出願手続きに進めます。
登録期間外の場合は、これより先に進めませんので「**ログアウト**」ボタンをクリックしてください。

STEP

2



出願内容の登録

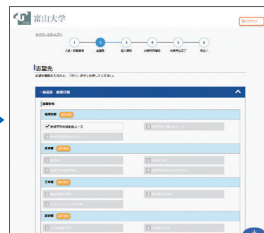
画面の手順や留意事項を必ず確認して、画面に従って必要事項を入力してください。



①マイページログイン後の
「**出願手続きを行う**」ボタン
から登録画面へ



②入試選択と留意事項の確認



③志望学部等の選択
11ページも参照してください。



④顔写真のアップロード
「**写真選択へ**」ボタンをクリックし
写真を選択します。



⑤個人情報(氏名・住所等)の
入力



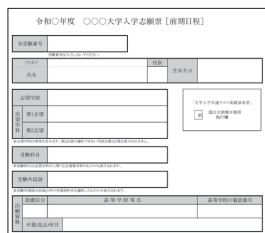
⑥出願内容の確認
「**志願票(サンプル)**」ボタンを
クリックすると志願票が確認できます。



⑦申込登録完了
「**引き続き支払う**」ボタンを
クリックし検定料のお支払い画面へ。



⑧検定料の支払い方法
●コンビニエンスストア
●ペイジー対応銀行ATM
●ネットバンキング ●クレジットカード



⑨出願に必要な書類PDF
(イメージ)

※検定料納入後に出力可能となります。

出願受付番号
メモ(12桁)

検定料の支払い方法で「コンビニエンスストア」または「ペイジー対応銀行ATM」を選択された方は、支払い方法の選択後に表示されるお支払いに必要な番号を下記メモ欄に控えたうえ、通知された「お支払い期限」内にコンビニエンスストアまたはペイジー対応銀行ATMにてお支払いください。

セブン-イレブンの場合

払込票番号
メモ(13桁)

デイリーヤマザキ、セイコーマートの場合

オンライン決済
番号メモ(11桁)

ローソン、ミニストップ、ファミリーマート、ペイジー対応銀行ATMの場合

お客様番号
メモ(11桁)

確認番号
メモ(6桁)

収納機関番号
(5桁)

5 8 0 2 1

※収納機関番号は、ペイジーで
お支払いの際に必要となります。

申込登録完了後に確認メールが送信されます。メールを受信制限している場合は、送信元(@e-apply.jp)からのメール受信を許可してください。 ※確認メールが迷惑フォルダなどに振り分けられる場合がありますので、注意してください。



申込登録完了後は、登録内容の修正・変更ができませんので誤入力のないよう注意してください。ただし、検定料支払い前であれば正しい出願内容で再登録することで、修正が可能です。

※「検定料の支払い方法」でクレジットカードを選択した場合は、出願登録と同時に支払いが完了しますので注意してください。

STEP

3

検定料の支払い

1 クレジットカードでの支払い

出願内容の登録時に選択し、支払いができます。

【ご利用可能なクレジットカード】

VISA、Master、JCB、AMERICAN EXPRESS、MUFGカード、DCカード、UFJカード、NICOSカード



出願登録時に支払い完了

2 ネットバンキングでの支払い

出願登録内容の登録後、ご利用画面からそのまま各金融機関のページへ遷移しますので、画面の指示に従って操作し、お支払いください。

※決済する口座がネットバンキング契約されていることが必要です

ウェブで手続き完了

3 コンビニエンスストアでの支払い

出願登録内容の登録後に表示されるお支払いに必要な番号を控えて、コンビニエンスストアでお支払いください。

●レジで支払い可能

●店頭端末を利用して支払い可能



Loppi



マルチコピー機

あなたも、コンビニ、
FamilyMart



4 ペイジー対応銀行ATMでの支払い

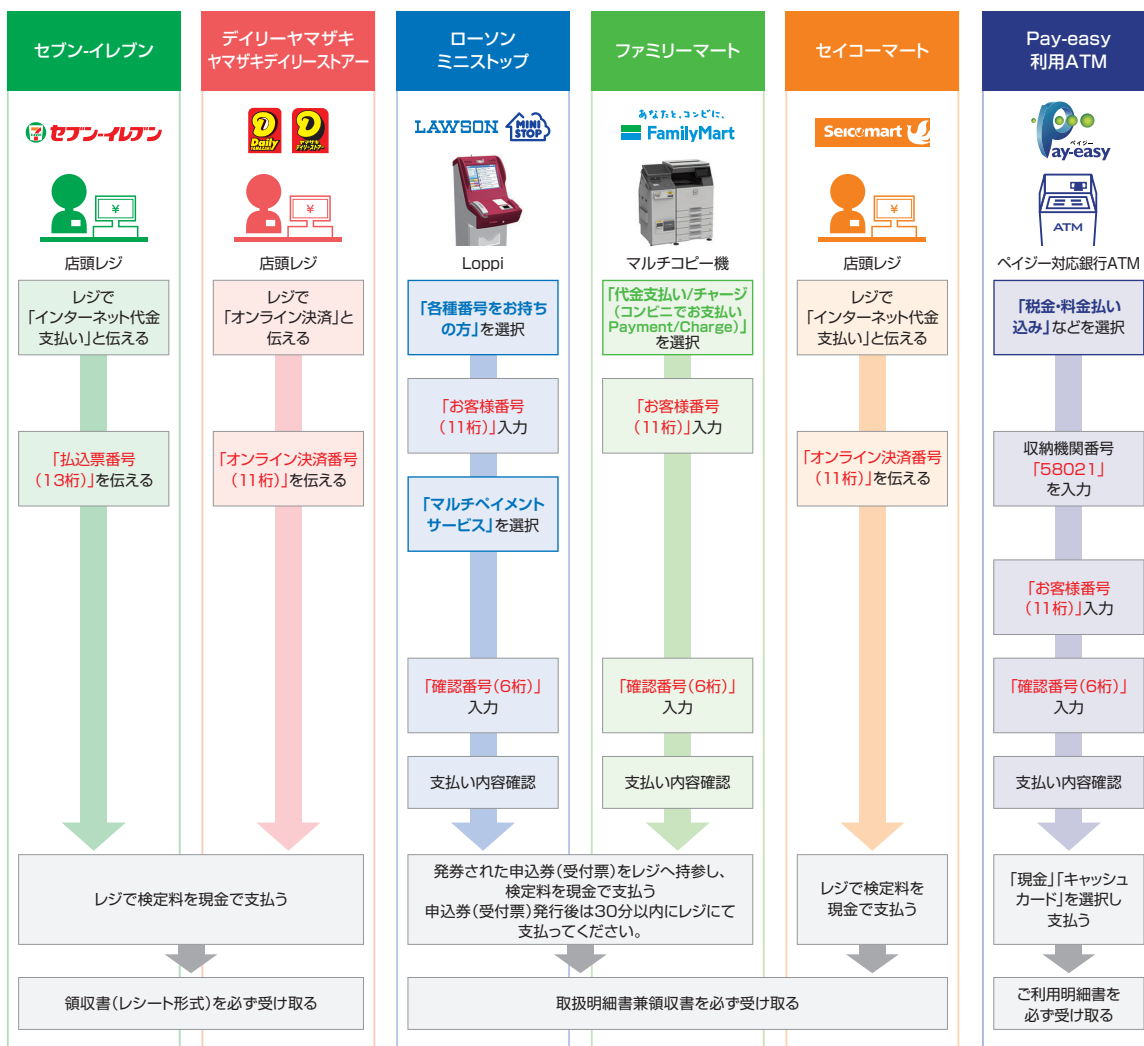
出願登録内容の登録後に表示されるお支払いに必要な番号を控えて、ペイジー対応銀行ATMにて画面の指示に従って操作のうえお支払いください。



※利用可能な銀行は「支払い方法選択」画面で確認してください。

各コンビニ端末画面・ATMの画面表示に従って必要な情報を入力し、
内容を確認してから検定料を支払ってください。

3 コンビニエンスストア



STEP

4

必要書類の印刷

「出願内容の確認／志願票の印刷」ボタンからログインし、
志願票等必要書類を**A4用紙にカラー印刷**
してください。

令和7年度富山大学入学志願票(総合型選抜)

氏名	山田 太郎	性別	男	生年月日	2004.03.15
住所	〒930-0000 富山県富山市1-1-1				
電話番号	03-1234-5678	メールアドレス	yamada.taro@example.com		
志願学部	工学部	志願学科	機械工学科	志願コース	機械工学科
志願理由	機械工学に興味があり、富山大学の設備と教授陣に魅了されています。				
推薦状	推薦状の提出は不要です。				
志願票印刷	印刷				

志願票PDF(イメージ)



STEP

5

出願書類の郵送

登録しただけでは出願は完了していませんので注意してください。

出願に必要な書類を出願期間内に郵便局窓口から「書留速達郵便」で郵送してください。

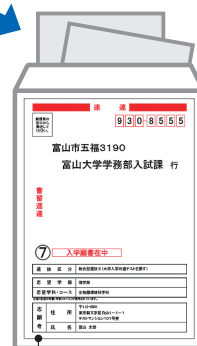
■出願書類

1回の出願登録につき各1部必要です。

出願に必要な書類は、本学生募集要項の11～12ページを参照して準備してください。

<出願書類到着期限>

令和6年11月25日(月)17時必着



宛名シート



郵便局窓口

出願書類の郵送先は宛名シートに
自動で印字されます。

宛名シートを市販の角形2号封筒(240mm
×332mm)に貼り付けてください。

※一旦受理した検定料・出願書類は、募集要項で明記している理由によるものを除き一切返却しません。

〈出願完了〉

※受理についての電話等による問い合わせには一切応じません。

STEP

6

受験票の印刷

16 ページを参照してください。

受験票等発行日以降に、インターネット出願サイトから受験票が印刷
できるようになります。「受験票の印刷」ボタンからログインし、印刷して
ください。

受験票は必ず**A4用紙にカラー印刷**して、試験当日に持参してください。



■インターネット出願サイトの操作方法・検定料の支払い方法に関する問い合わせ先
株式会社キャリアス「学び・教育」出願・申込サービス サポートセンター
TEL:0120-202079 受付時間:平日10:00～17:00(土日祝休・年末年始休み)

(1) 事前準備

書類等	摘 要
利用環境	PC利用時の推奨ブラウザは、次のとおりです。 ・Microsoft Edge 最新版 ・Google Chrome 最新版 ・Mozilla Firefox 最新版 ・Apple Safari 最新版 ※ ブラウザのタブ機能を使用して、複数のタブで同時に申込操作を行いますと、選択した内容が他のタブに引き継がれてしまう等の不具合が発生する場合があります。複数タブでの同時申込操作は控えてください。 前画面へ戻る場合はブラウザの「戻る」ボタンは利用せず、画面内に表示されている「戻る」ボタンを利用してください。 スマートフォン、タブレット利用時の推奨ブラウザは、次に示すOSの標準ブラウザです。 ・iOS 12 以上 ・Android OS 8 以上 ・iPadOS 13 以上 ※ お使いのブラウザで表示が崩れることがありましたら、他のブラウザにて確認ください。 ※ Androidのスマートフォンからの操作でChromeのPC版からはPDFの表示ができない場合がありますので、モバイル版を利用ください。
PDF表示・印刷ソフトウェア	入学志願票(PDF)の表示・印刷にはアドビシステムズ社が配布している Adobe Acrobat Reader (無償) が必要です。
メールアドレス	出願にはメールアドレスが必要となりますので、事前にメールアドレスを用意してください。 なお、ドメイン指定受信を設定されている方は、次のドメインからのメールを受信できるように設定を追加してください。 @e-apply.jp スマートフォン・携帯電話の通信会社から発行されるメールアドレスを登録される方は、各通信会社の迷惑メールフィルターの解除方法に従って、@e-apply.jpからのメールが届くように設定してください。
本人写真	出願にあたって顔写真データ（ファイル形式（jpeg, jpg, png, bmp），最大10 MBまで）を用意してください。 写真の大きさは縦4：横3の比率を推奨します。 写真は本人確認に使用します。 出願前3ヶ月以内に撮影した「正面，上半身，無帽，背景なし」の顔写真データ（カラー）を用意してください。 【使用できない写真の例】 不鮮明（ぼやけている，影がある），無背景でない（背景に風景が写っている，背景に模様がある），化粧や前髪が目にかかるなど本人確認が困難，写真に加工を施している，現像された写真を再撮影しているなど
プリンター	入学志願票及び受験票（PDF）を出力するため，A 4 普通紙に印刷することが出来るカラープリンターが必要です。 印刷用紙(普通紙・PPC用紙・OA共通用紙・コピー用紙等)とともに用意してください。

角 2 封筒	入学志願票等の出願書類を郵送するため、市販の角形 2 号封筒（240 mm×332 mm）を用意してください。入学志願票を印刷した際に出力される「宛名シート」を封筒に貼り付けて使用してください。
--------	---

(2) 出願内容登録の補足

7 ページの STEP 2 の出願内容の登録は、次のとおり選択してください。

選抜区分	志望学部	志望学科等	備 考
総合型選抜Ⅱ	医学部	医学科「富山県一般枠」， 医学科「富山県特別枠」	「志望学科等」は第 2 志望まで選択できます。

(3) 検定料

17,000 円

検定料の支払いは、7 ページの STEP 2 の出願内容の登録完了後に行います。本学の「インターネット出願サイト（<https://e-apply.jp/ds/toyama-u/>）」から出願し、志願者登録完了後、検定料決済を行ってください。検定料の支払方法は、8 ページの STEP 3 の検定料の支払いにより確認してください。検定料支払い後に、入学志願票を印刷することが可能になります。

なお、検定料の支払いには、別途手数料が必要です。手数料は支払人負担となります。

また、災害による被災者に対して検定料免除の制度があります。詳細は本学のウェブサイトを参照してください。

一旦、受理した検定料は、次の場合を除き、いかなる理由があっても返還しません。

① 検定料の返還請求ができる場合及び返還額

(ア) 検定料を払い込んだが富山大学に出願しなかった（出願書類等を提出しなかった又は出願が受理されなかった）場合〔返還額〕17,000 円

(イ) 検定料を二重に払い込んだ場合〔返還額〕17,000 円

(ウ) 検定料を多く払い込んだ場合〔返還額〕多く払い込んだ額

ただし、返還時の振込手数料は、受取人負担とします。

② 返還請求の方法

別添の「検定料返還請求書」に必要事項を記入し、本学へ郵送してください。

送付先：〒930-8555 富山市五福 3190 富山大学財務施設部経理第一課

TEL (076) 445-6053

(4) 出願に必要な書類等

志願者は、必要書類を「宛名シート」を貼付した封筒に入れ、書留速達郵便（国外から郵送する場合は、EMS 等追跡可能な手段）で送付してください。必要書類の送付は、8 ページの STEP 3 の検定料の支払いが完了した後に行います。

なお、書留速達郵便で送付した出願封筒について、本学への到着（配達）の有無の問い合わせには応じません。日本郵便ウェブサイトの「郵便追跡サービス」により、志願者本人が確認してください。

① インターネット出願サイトから印刷する書類

出願書類等 (掲載ページ)	摘 要
入学志願票 (23ページ※)	インターネット出願サイトから A 4 サイズでカラー印刷してください。 検定料の支払い後に、印刷が可能となります。
宛名シート (24ページ※)	インターネット出願サイトから A 4 サイズでカラー印刷してください。 市販の角形 2 号封筒（240 mm×332 mm）に剥がれないように貼付してください。

印字されている内容に誤りがないか必ず確認してください。

※本募集要項では見本を掲載

② 本学ウェブサイトから印刷し作成する書類

出願書類等 (掲載ページ)	摘 要
自己推薦書 (29ページ)	本学ウェブサイトから所定の様式をA4サイズで印刷し、本人が自筆で記入してください。
確約書 (31ページ, 33ページ)	本学ウェブサイトから所定の様式をA4サイズで印刷し、本人及び保護者が自筆で記入してください。 「富山県一般枠」及び「富山県特別枠」とともに志願する場合は、各々の確約書を提出してください。

③ 志願者が準備する書類

出願書類等	摘 要
調査書	文部科学省所定の様式により、出身学校長が作成し、厳封したものを提出してください。（令和6年度に作成された調査書等を提出してください。） 原則として、A4版表裏の両面を使って作成してください。枚数は両面1枚とします。卒業生については、従前の様式による調査書の提出を認めます。ただし、高等学校卒業程度認定試験の合格者は、その合格成績証明書をもって調査書に代えることができます。なお、高等学校等に在学した経歴を有する者は、当該学校長が作成し、厳封した調査書等を併せて提出してください。 また、次の注意事項に留意のうえ、調査書がもれなく作成されるよう依頼してください。 （注）特別活動の記録欄及び指導上参考となる諸事項欄には、 1 生徒会活動に関しては、会長、副会長その他全校的な役員を、 2 クラブ活動あるいは学校外における大会・競技・展覧会等での活動に関しては、県内（上位のみ）、地区、全国レベルでの参加（団体か個人か）、部長、主将、マネージャー等の役職を、 3 学校外団体等でのボランティア活動等については主なものを、 4 資格・検定については、例えば英検3級以上などの有級、書道5段などの有段競技の内容を、欄内に収まる程度に記入してください。 なお、高等学校等の臨時休業や各種大会、資格・検定試験等の中止等により、記入できない場合は、その理由を付した上で、当初参加を予定していた大会名や資格・検定試験名などを記入してください。 ・調査書の氏名と現在の氏名が相違している者 調査書の氏名と現在の氏名が相違している者は、戸籍抄本（戸籍個人事項証明書）等の改姓、改名を証明する書類を併せて提出してください。
令和7共通テスト成績請求票 〔国公立総合型選抜用〕	大学入試センターから成績請求票が送付され次第、大学入試センター交付の「令和7共通テスト成績請求票総合〔国公立総合型選抜用〕」を、インターネット出願サイトから印刷した成績請求票貼付票に貼り付けて、12月20日（金）までに書留郵便で送付してください。（出願時に提出する必要はありません。） <u>手順</u> ① インターネット出願サイトの「ログイン」ボタンからログインする。 ② 成績請求票に記載されている番号を入力する。 ③ 成績請求票貼付票をA4サイズで印刷し、「令和7共通テスト成績請求票総合〔国公立総合型選抜用〕」を貼り付けて書留郵便で送付する。
住民票の写し	出願資格及び出願要件(2)の者のみ提出してください。 居住する市町村長の発行した原本。

7 選抜方法及び選抜期日等

(1) 選抜方法

- ① 入学者の選抜は、書類審査（自己推薦書、調査書）、試験当日に課す小論文と面接の結果並びに大学入学共通テストの成績を総合して行います。ただし、小論文又は面接において、0点の場合は、合格者の対象としません。
- ② 本学医学部医学科が課す大学入学共通テストの合計得点が70%未満の場合は、合格の対象としません。（ただし、平均点が大きく変動した場合は変更することがあります。）

区分	書類審査・面接	小論文	大学入学共通テスト	合計
配点	150点	100点	1000点	1250点

面接は、数名の面接委員による1人10分程度の個人面接を行います。

なお、面接委員には富山県の担当者を含みます。

大学入学共通テストの配点は次のとおりです。

【大学入学共通テストの利用教科・科目及び配点】〈6教科8科目〉

教科	新教育課程による出題科目	旧教育課程履修者に対する経過措置	配点
	科目名等	科目名等	
国語	国語（必須）		200点
地理歴史 公民 （注2）	「地理総合、地理探究」「歴史総合、日本史探究」「歴史総合、世界史探究」 「地理総合／歴史総合／公共」※ 「公共、倫理」「公共、政治・経済」	「地理総合、地理探究」「歴史総合、日本史探究」「歴史総合、世界史探究」「地理総合／歴史総合／公共」※ 「公共、倫理」「公共、政治・経済」「旧世界史B」「旧日本史B」「旧地理B」「旧倫理、旧政治・経済」	100点
数学	数学Ⅰ，数学A（必須） 数学Ⅱ，数学B，数学C（必須）	「数学Ⅰ，数学A」「旧数学Ⅰ・旧数学A」 から1 「数学Ⅱ，数学B，数学C」「旧数学Ⅱ・旧数学B」から1	200点
理科	「物理」「化学」「生物」から2		200点
外国語 （注3）	「英語（リスニングを含む。）」「ドイツ語」「フランス語」「中国語」「韓国語」から1		200点
情報	情報Ⅰ（必須）	「情報Ⅰ」「旧情報」から1	100点
配点合計			1000点

※ 「地理総合／歴史総合／公共」を選択する場合、3つの出題範囲のうち2つを選択解答してください。

（注1）大学入学共通テストについては、令和7年度大学入学共通テストの教科・科目等を利用します。

（注2）「地理歴史、公民」から2科目を受験している場合は、第1解答科目の得点を採用します。

（注3）大学入学共通テストの「外国語」における英語は、リーディング（100点満点）の得点を160点満点に、リスニング（100点満点）の得点を40点満点に換算し、その合計得点200点満点をそのまま利用します。

なお、聴覚障害者の内、重度難聴者でリスニングの免除を大学入試センターに申請し、許可されたものの大学入学共通テストの「外国語」における英語は、リーディング（100点満点）の得点を200点満点に換算します。

また、大学入学共通テストの「外国語」のその他の科目は、筆記（200点満点）の得点をそのまま利用します。

(2) 選抜期日・試験場等

期 日	科目等	時 間	試 験 場
令和6年 12月16日(月)	集 合	9 : 30	富山大学 杉谷 (医薬系) キャンパス (富山市杉谷 2630)
	小 論 文	10 : 00 ～ 11 : 00 (60 分間)	
	面 接	13 : 00 ～	

(注) 志願者数により、時間等を変更することがありますが、その場合には、受験票と併せて通知します。

8 合格者発表

日時 令和7年2月10日(月) 10時

受験者全員に合否の結果を郵送により通知します。また、合格者の受験番号を本学のウェブサイト（本学トップページから入試情報をクリックすると閲覧できます。）に掲載します。

なお、合否についての電話その他による問い合わせには一切応じません。

※2月に合格者を対象としたオリエンテーションを実施する予定です。

9 出願上の注意事項

- (1) インターネット出願サイトからの登録だけでは出願手続完了にはなりません。検定料を支払期間内に支払い、出願に必要な書類を出願期間内に本学に送付する必要があります。なお、災害による被災者に対して検定料免除の制度があります。詳細は本学のウェブサイトを参照してください。
- (2) 本選抜と本学医学部医学科が実施している学校推薦型選抜「地域枠」を併願することはできません。学校推薦型選抜「地域枠」により志願する場合は、別途公表の「令和7年度学生募集要項（学校推薦型選抜 帰国生徒選抜 社会人選抜）」を参照し、出願してください。
- (3) 大学入試センターから送付された「令和7共通テスト成績請求票^{総合}〔国公立総合型選抜用〕」を12月20日(金)までに富山大学学務部入試課へ書留郵便で送付してください。(12ページを参照してください。)

なお、成績請求票の再発行を受けた場合は、再発行された成績請求票により出願しなければ失格となります。

- (4) 出願に関すること又はその他の問い合わせは、下記あてに照会してください。

照会先：富山大学学務部入試課 〒930-8555 富山市五福 3190 TEL (076) 445-6100

- (5) 志願者本人が作成する書類(自己推薦書など)において ChatGPT 等の生成 AI を利用することは禁止します。
- (6) 出願書類は、いかなる理由があっても返還しません。
- (7) 出願後における「志望学部・学科」、「志望順位」等の変更は認めません。
- (8) 出願書類に不備があるもの及び入学検定料に不足のあるものは受理しません。
- (9) 「入学志願票」の「連絡先」は、出願書類に関する照会、合格通知、その他緊急の連絡時に必要ですので、氏名、現住所、連絡先又は電話番号に変更が生じた場合は、至急本学学務部入試課に届け出てください。
- (10) 受験票は、出願期間終了後、受験票等発行日以降に、インターネット出願サイト上で印刷ができるようになります。印刷して、必ず試験当日に持参してください。(16ページを参照してください。)
- (11) 入学許可の後においても、提出書類の記載と相違する事実が発見された場合は、入学を取り消すことがあります。

10 安全保障輸出管理について

富山大学では、「外国為替及び外国貿易法」に基づいて「国立大学法人富山大学安全保障輸出管理規則」を定めて、技術の提供、貨物の輸出の観点から、安全保障輸出管理について厳格な審査を行っています。規制されている事項に該当する場合は、入学を許可できない場合や希望する教育が受けられない、希望する研究活動に制限がかかる場合がありますので、出願にあたっては注意してください。

(参考) 「国立大学法人富山大学安全保障輸出管理規則」

URL <http://www3.u-toyama.ac.jp/soumu/kisoku/pdf/0110401.pdf>

11 障害等のある入学志願者の事前相談

障害等（視覚障害、聴覚障害、肢体不自由、病弱、怪我、発達障害等）があつて、受験上及び修学上特別な配慮を希望する入学志願者は、出願に先立ち、本学学務部入試課へ事前相談を行ってください。

なお、必要に応じて、本学において入学志願者又はその立場を代弁し得る出身学校関係者等との面談を行うことがあります。

※事前相談の申請を行った場合でも、本学への出願が義務付けられるわけではありません。

(1) 相談期限

令和6年11月13日（水）まで

視覚障害、体幹及び両上下肢の機能障害が著しい入学志願者で、大学入学共通テストで「点字解答」又は「代筆解答」の措置を申請する志願者は、上記の期限にかかわらずできるだけ早い時期に相談してください。

なお、期限後に、受験及び修学の際に特別な配慮が必要となった入学志願者は、速やかに本学学務部入試課へ問い合わせてください。

(2) 相談方法

本学ウェブサイトから事前相談申請書をダウンロードするか、下記事項を記載した申請書を作成し、医師の診断書（写しでも可）等を添え、本学学務部入試課へ提出してください。

- ① 氏名・性別・生年月日・住所・電話番号・メールアドレス
 - ② 志望の学部・学科（コース）等・受験する入試区分
 - ③ 障害等の種類・程度
 - ④ 受験の際に特別な配慮を希望する事項
 - ⑤ 修学の際に特別な配慮を希望する事項
 - ⑥ 出身学校等でとられていた措置（担任教諭の所見のあるもの）
 - ⑦ 日常生活の状況
 - ⑧ その他参考となる事項（相談する際の参考資料があれば、併せて提出してください）
- 例：身体障害者手帳の写し、大学入学共通テスト受験上の配慮事項決定通知書の写し等

(参考) 事前相談申請書掲載ページ

(本学トップページ) → 「入試情報」 → 「障害等のある入学志願者の事前相談」

(3) 相談先

富山大学学務部入試課 〒930-8555 富山市五福 3190

TEL (076) 445-6100 FAX (076) 445-6104

(注) 日常生活で使用している補聴器、松葉杖、車椅子等を、受験時に使用したい場合も、試験場設定等において配慮が必要となる場合がありますので、必ず事前に相談してください。

事前相談は、障害等のある入学志願者に本学の現状をあらかじめ知っていただき、受験及び修学にあたってより良い方法やあり方を実現するためのもので、障害等のある方の受験や修学を制限するものではありません。

(参考) 国立大学法人富山大学障害を理由とする差別の解消の推進に関する職員対応要領

(本学トップページ) → 「大学紹介」 → 「情報公開」 → 「大学運営に関する情報」を確認してください。

12 受験票及び受験上の注意事項の印刷

- (1) 受験票は、志願者が郵送した出願書類を本学が受理した後、受験票等発行日以降に、インターネット出願サイト上で印刷ができるようになります。なお、受験票の印刷が可能になりましたら、インターネット出願時に登録した志願者のメールアドレスへ通知します。

受験票等発行日 令和6年12月2日(月) (予定)

(注) 受験票等発行日は予定のため、変更になる可能性があります。

- (2) インターネット出願サイトの「ログイン」からマイページにログインします。ログインするためには出願登録時の【メールアドレス・ご自身で設定したパスワード】が必要になります。
- (3) ログイン後、受験票をダウンロードしてください。受験票は、**A4用紙にカラー印刷**して、必ず試験当日に持参してください。なお、受験票と一緒に受験上の注意事項が印刷されます。必ず事前に熟読してください。

注意事項

- (1) 受験票を印刷後、記載内容を必ず確認してください。出願登録した内容と異なっている場合は、入試に関する問い合わせ先(学務部入試課)へ速やかに連絡してください。また、パソコン等の画面上の受験番号と、実際に印刷された受験票の受験番号が、一致していることを必ず確認してください。
- (2) メールが届かない場合でも、インターネット出願サイトにログインして受験票及び受験上の注意事項を印刷してください。
- (3) インターネット出願登録した際の受付番号は、受験番号ではありません。試験当日は受付番号での受験はできませんので、必ず受験票を持参してください。
- (4) 試験当日に、スマートフォン等での画面表示による受験票の提示は認めません。必ず印刷した受験票を持参し、試験終了後も大切に保管してください。

13 試験当日の注意事項

- (1) 試験当日は、「**本学受験票**」を必ず持参すること。
- (2) 指定した科目等を受験するときは、必ず「**本学受験票**」を携帯すること。
- (3) 指定した科目等の一部でも欠席した者は、失格とする。
- (4) 試験当日は、試験開始30分前までに指定された試験場に集合すること。
- (5) 試験室への入室は、試験場での指示に従うこと。
- (6) 試験開始時刻に遅刻した場合は、**試験開始時刻後30分以内の遅刻に限り、受験を認めるが、試験時間の延長は認めない**。ただし、面接については、指定された時刻に遅れた場合は、原則として、受験を認めない。
- (7) 試験室では、**本学が指定した所持品**以外のものは使用を許可しない。ただし、受験上特別な配慮を希望し認められた者には、必要なものの使用を許可する。
- (8) 携帯電話、スマートフォン、ウェアラブル端末(スマートウォッチやスマートグラス等。)等は、試験室に入る前にアラームの設定を解除し、電源を切ってかばん等に入れ、身に付けないこと。これらを時計として試験室内で使用することはできない。
- (9) 解答用紙には、所定の欄に受験番号(横書き算用数字使用)を記入し、氏名は記入しないこと。
- (10) 試験途中での退室は認めない。
- (11) 試験当日はなるべく公共交通機関を利用すること。
- (12) 不測の事態により、試験時間等本学学生募集要項の内容を変更する必要がある場合は、本学ウェブサイトでお知らせするため、最新の情報を必ず確認すること。

富山大学ウェブサイト <https://www.u-toyama.ac.jp/admission/>

不正行為について

- ① 次のことをすると不正行為となります。不正行為を行った場合は、その場で受験の中止と退室を指示され、それ以後の受験はできなくなります。また、受験した全ての教科・科目の成績を無効とします。

ア インターネット出願において故意に虚偽の情報を登録すること。
イ 解答用紙へ故意に虚偽の記入（解答用紙に本人以外の受験番号を記入すること等）をすること。
ウ カンニング（試験の教科・科目に関係するメモやコピーなどを机上等に置いたり見たりすること、教科書、参考書、辞書等の書籍類の内容を見ること、他の受験者の答案等を見ること、他の人から答えを教わること等）をすること。
エ 他の受験者に答えを教えるなどカンニングの手助けをすること。
オ 配付された問題冊子を、その試験時間が終了する前に試験室から持ち出すこと。
カ 解答用紙を試験室から持ち出すこと。
キ 「解答はじめ。」の指示の前に、問題冊子を開いたり解答を始めること。
ク 試験時間中に、持ち込みを許可されたもの以外の補助具（定規、コンパス、電卓等）を使用すること。
ケ 試験時間中に、携帯電話、スマートフォン、ウェアラブル端末（スマートウォッチやスマートグラス等。）、タブレット端末、電子辞書、ICレコーダー、イヤホン、音楽プレーヤー等の電子機器類を使用すること。
コ 「解答やめ。」の指示に従わず、鉛筆や消しゴムを持っていたり解答を続けること。

- ② 上記①以外にも、次のことをすると不正行為となることがあります。指示等に従わず、不正行為と認定された場合の取扱い、①と同様です。

ア 試験時間中に、定規、コンパス、電卓等の補助具や携帯電話、スマートフォン、ウェアラブル端末（スマートウォッチやスマートグラス等。）、タブレット端末、電子辞書、ICレコーダー、イヤホン、音楽プレーヤー等の電子機器類、教科書、参考書、辞書等の書籍類をかばん等にしまわず、身に付けていたり手に持っていること。
イ 試験時間中に携帯電話や時計等の音（着信、アラーム、振動音等）を長時間鳴らすなど、試験の進行に影響を与えること。
ウ 試験に関することについて、自身や他の受験者が有利になるような虚偽の申出をすること。
エ 試験場において他の受験者の迷惑となる行為をすること。
オ 試験場において試験監督者等の指示に従わないこと。
カ その他、試験の公平性を損なうおそれのある行為をすること。

上記①及び②について、追加・変更が発生する場合は、本学ウェブサイト及びインターネット出願サイトを通じて、受験者に案内します。

感染症に関する注意事項について

試験当日に、学校保健安全法施行規則で出席停止が定められている感染症（新型コロナウイルス感染症、インフルエンザ、麻しん等）に罹患し治癒していない場合は、他の受験者や監督者等への感染のおそれがありますので、受験は認められません。ただし、病状により学校医、その他の医師において感染のおそれがないと認められたときは、この限りではありません。万全の体調で試験に臨めるよう、感染予防対策を励行し、自己の健康管理を徹底するように注意してください。

試験場においても、感染症の流行状況等を踏まえ、換気の確保や手洗い等の手指衛生励行などの対策を行います。なお、マスク着用の場合は、試験中の本人確認や面接実施時にマスクをはずすよう指示することがあります。

駅及び試験場周辺等における合格電話・電報等のあっせん行為への注意

試験前日又は試験当日、最寄りの駅又は試験場周辺等で「合格電話・電報」等の受付をする者がいても、これらの行為は本学とは何ら関係ないものであり、これらのことから生じるトラブル等に対して、本学は一切責任を負いませんので十分注意してください。

14 入学手続

詳細については合格者に郵送により通知します。

(1) 入学手続日 令和7年2月19日(水)まで

(2) 入学手続書類送付先 〒930-0194 富山市杉谷 2630 富山大学杉谷地区事務部学務課 (入試担当)

(3) 入学手続時に要する経費

① 入学料 282,000 円〔予定額〕

なお、上記の入学料は予定額であり、入学時に入学料を改定した場合は、改定時から新たな入学料を適用します。また、入学料は、入学手続完了後はどのような事情があっても返還しません。

② その他 学生教育研究災害傷害保険等の費用 (6年間分 7,800 円：予定額)

なお、保険料は変更となる可能性があります。詳細は、入学手続時に通知します。

(注) 授業料の納付について

入学後(前期分は5月、後期分は11月)に、それぞれ口座振替により徴収します。

なお、納付金額・納付方法等の詳細については、入学手続時に通知します。

<参考>令和6年度授業料 前期、後期 各 267,900 円 (年額 535,800 円)

(4) 注意事項

① 入学手続期間内に手続を完了しない者は、入学辞退者として取り扱います。

なお、その場合、合格者としての権利を消失するとともに、**既に出願済みの国公立大学・学部(※独自日程で入学者選抜試験を行う公立大学・学部を除く。以下同じ。)の個別学力検査等を受験してもその合格者とはなりません。**

※ 公立大学協会ウェブサイト (<https://www.kodaikyo.org>) 参照

ただし、特別の事情により令和7年2月19日(水)までに本学から入学辞退の許可を得た場合を除きます。

② 入学手続完了後に、他の国公立大学及び本学の個別学力検査等を受験してもその合格者とはなりません。

③ 入学手続において、合格者は必ず「**令和7年度大学入学共通テスト受験票**」を提出しなければなりません。

15 本選抜の入学辞退

本選抜の趣旨から、合格者の入学辞退は原則として認めません。

ただし、合格者で特別の事情により入学辞退を希望する者は、令和7年2月19日(水)までに「総合型選抜入学辞退届」(様式は任意)を本学学長に提出しなければなりません。

なお、この手続を怠ると、本学又は他の国公立大学・学部の一般選抜を受験してもその合格者とはなりません。

16 一般選抜への出願

総合型選抜志願者は、不合格になった場合に備えて、本学及び他の国公立大学・学部に出願することができます。ただし、出願に当たっては、志望大学・学部の出願要件に留意してください。各大学・学部等により、大学入学共通テストの受験を要する教科・科目等が異なる場合がありますので、特に注意してください。

なお、一般選抜においては、「前期日程」から1つ、「後期日程」から1つの合計2つまでの大学・学部に出願することができますが、本学医学部医学科は「後期日程」の募集を行いません。詳細は令和7年度富山大学学生募集要項〈一般選抜〉を参照してください。(出願期間は、**令和7年1月27日(月)から2月5日(水)まで。**)

17 志願者等の個人情報の取扱い

本学が保有する個人情報については、「個人情報の保護に関する法律」及び「国立大学法人富山大学個人情報保護規則」に基づいて取り扱います。

(1) 出願にあたって知り得た氏名、住所その他個人情報については、①入学者選抜(出願処理、選抜実施)、②合格発表、③入学手続、④入学者選抜方法等における調査・研究、⑤これらに付随する業務を行うために利用します。合否判定の際には用いません。

(2) 入学者選抜に用いた試験成績の個人情報は、入学者選抜方法等における調査・研究及びこれらに付随する業務を行うために利用します。

- (3) 国公立大学の一般選抜における合格決定業務を円滑に行うため、氏名、受験番号、性別、生年月日、高等学校等コード、大学入学共通テストの受験番号、可否及び入学手続に関する個人情報を、独立行政法人大学入試センター及び併願先の国公立大学に送付します。
- (4) 出願にあたって知り得た個人情報は、本学入学手続完了者（学校推薦型選抜、帰国生徒選抜、社会人選抜及び総合型選抜にあつては、合格者を含む。）についてのみ、入学前における準備教育及び入学後における①教務関係（学籍、修学指導、学生証の作成、クラス編成等）、②学生支援指導関係（健康管理、授業料免除・奨学金申請、就職支援等）、③授業料徴収に関する業務、④統計調査及び分析を行うために利用します。
- (5) 本学合格者についての受験番号、氏名及び住所に限り、本学の関係団体である後援会、生活協同組合及び同窓会（入学者のみ）からの連絡を行うために利用する場合があります。
（注）上記団体からの連絡を希望しない場合は、本学学務部入試課（連絡先は、裏表紙を参照）にその旨申し出てください。
- (6) 各種業務での利用にあたっては、一部の業務を本学より当該業務の委託を受けた業者（以下「受託業者」という。）において行うことがあります。業務委託にあたり、受託業者に対して、委託した業務を遂行するために必要となる限度で、知り得た個人情報の全部又は一部を提供しますが、守秘義務を遵守するよう指導します。

18 入試情報開示

令和7年度医学部医学科総合型選抜にかかる採点・評価基準、合否判定基準及び正解・解答例等については、以下のとおりです。

(1) 採点・評価基準

富山県内の地域医療に貢献するという強い意志を、書類審査（自己推薦書、調査書）、小論文及び面接により総合的に評価する。

(2) 合否判定基準

書類審査（自己推薦書、調査書）・面接150点、小論文100点、大学入学共通テスト1000点、合計1250点満点とし、その高得点順に判定する。本選抜の受験者全員を総合点の高得点順に順位付けし、高得点者から志望順位により「富山県一般枠」又は「富山県特別枠」のいずれかの合格を決定する。

同点の場合は、成績順位を同じとする。ただし、大学入学共通テストの合計得点が70%未満の場合は、合格の対象としない。（なお、平均点が大きく変動した場合は変更することがある。）また、小論文又は面接において、0点の場合は、合格者の対象としない。

(3) 正解・解答例等

小論文：出題意図を公表する。

面接：面接意図を公表する。

(4) その他

① 正解・解答例等は、令和7年5月上旬以降、本学のウェブサイト（本学トップページから入試情報をクリックすると閲覧できます。）により公表する。

② 入学試験の成績開示は行わない。

○試験場案内図 富山大学 杉谷（医薬系）キャンパス



- 富山きときと空港から富山駅まで
 - ・バスで約 20 分
 - ・タクシーで約 15 分
- 富山駅〔南口側〕から富山大学杉谷キャンパスまで
 - ・バスで3番のりば 富大附属病院循環（富山大学附属病院下車）で約 30 分
 - ・タクシーで約 25 分
- 北陸自動車道から富山大学杉谷キャンパスまで
 - ・富山西 IC から自動車で約 5 分
 - ・富山 IC から自動車で約 25 分

富山県まで

北海道 から 新千歳空港から（約1時間30分）

東京 から 羽田空港から（約1時間）
JR東京駅から（約2時間10分）
高速バス（約6時間30分）

長野 から JR長野駅から（約50分）
車で上信越自動車道－上越JCT－北陸自動車道－富山

新潟 から JR新潟駅から（約2時間50分）
車で北陸自動車道－富山

金沢 から JR金沢駅から（約20分）
車で北陸自動車道－富山

名古屋 から JR名古屋駅から（約3時間20分）
車で名神高速道路－一宮JCT－東海北陸自動車道－富山
高速バス（約3時間40分）

京都 から JR京都駅から（約2時間30分）
車で名神高速道路－米原JCT－北陸自動車道－富山
高速バス（約4時間40分）

大阪 から JR大阪駅から（約3時間）
車で名神高速道路－米原JCT－北陸自動車道－富山
高速バス（約5時間40分）

○入試情報ウェブサイト

本学では、令和7年度入学試験についての情報をインターネットウェブサイトで提供します。
パソコン・スマートフォンで、本学トップページから入試情報をクリックすると閲覧できます。

提供時期（予定）	内 容
令和6年 7月上旬	入学者選抜要項の公表
	大学案内及び各学部案内の公表
7月中旬	総合型選抜（医学部を除く。）学生募集要項の公表
9月上旬	学校推薦型選抜，帰国生徒選抜及び社会人選抜学生募集要項の公表
10月下旬	一般選抜，専門学科・総合学科卒業者選抜及び私費外国人留学生選抜学生募集要項の公表
	総合型選抜（医学部医学科）学生募集要項の公表
令和7年 1月下旬～	出願状況の公表
2月12日（水）（予定）	教育学部及び医学部医学科第1段階選抜実施状況の発表
3月7日（金）	前期日程の合格者発表
3月21日（金）	後期日程の合格者発表
5月上旬	令和7年度入学試験情報の開示

○「入試過去問題活用宣言」への参加について

本学は、「入試過去問題活用宣言」に参加しており、入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）に沿った選抜を実現するため、必要と認められる範囲で「入試過去問題活用宣言」に参加している大学の入試過去問題や類似問題を使用して出題することがあります。「入試過去問題活用宣言」の詳細及び参加大学の一覧は、次のウェブサイトで確認してください。

「入試過去問題活用宣言」ウェブサイト <https://www.nyushikakomon.jp/>

添 付 書 類

添付の出願書類の種類は、次のとおりです。

（◎はインターネット出願サイトから印刷してください。本学生募集要項には見本を掲載しています。）

（○は本学ウェブサイトから本学生募集要項の該当ページを印刷し作成してください。）

医学部医学科総合型選抜

◎入学志願票（総合型選抜）＜見本＞

◎宛名シート＜見本＞

- ・出願書類確認表（チェックリスト）（出願書類ではありません。）
- ・大学入学共通テスト受験教科・科目確認表[総合型選抜]（出願書類ではありません。）

○自己推薦書

○確約書

- ・検定料返還請求書（出願書類ではありません。）

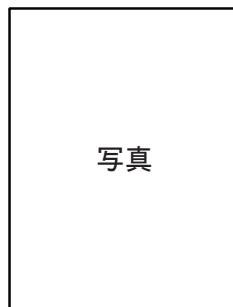
（注）出願書類に不備がある場合は、受理しないので、提出すべき書類・記載漏れがないかを十分確認のうえ、出願してください。

令和7年度富山大学入学志願票(総合型選抜)

フリガナ	トヤマ タロウ	性別	生年月日
氏名	富山 太郎	男	平成18年5月1日

志願者連絡先 (合格通知等 送付先)	郵便番号 930-XXXX		携帯電話	080-2222-XXXX	
	富山県富山市杉谷				
	e-mail	sample@adm.u-toyama.ac.jp			
その他連絡先	氏名	富山 誠		志願者 との関係	父
	郵便番号 930-XXXX	電話番号	076-111-XXXX	携帯電話	090-4444-XXXX
	富山県富山市杉谷				

出 願 資 格	高 等 学 校 等	富山県	サンプル			高等 学校
	高校 コード	13000A	その他の 学校等名			
	課程	全日制	学科	普通科		
	卒業 年月	令和7年3月	卒業			
	電話 番号	076-333-XXXX				



選抜区分	総合型選抜Ⅱ (大学入学共通テストを課す)
------	-----------------------

志望学部	医学部
------	-----

志望学科等	第1志望	医学科「富山県特別枠」
	第2志望	医学科「富山県一般枠」
	第3志望	—

見本

速

達

郵便局の
窓口から
郵送して
ください。

9 3 0 - 0 1 9 4

富山市杉谷 2 6 3 0

富山大学杉谷地区事務部学務課 行

書
留
速
達

7

入学願書在中

選 抜 区 分	総合型選抜Ⅱ（大学入学共通テストを課す）
---------	----------------------

志 望 学 部	医学部
志 望 学 科 等	医学科「富山県特別枠」

※第1志望の学部・学科等が表示されています。

志 願 者	住 所	930-XXXX 富山県富山市杉谷
	氏 名	富山 太郎

(この書類の提出は不要)

出願書類確認表(チェックリスト)

封入する前に, 出願書類を確認してください。	確認
入学志願票(総合型選抜)※折り曲げ厳禁	
住民票の写し ※該当者のみ	
自己推薦書	
調査書(又はこれに代わる証明書)	
確約書 ※「富山県一般枠」「富山県特別枠」ともに出願する場合は, 各々の確約書を提出してください。	

封をする前に, 以下の事項を確認してください。	確認
封入物(出願書類とその内容)を再確認しましたか?	はい
出願要件の一部でも満たしていない場合は失格となることに同意しますか?	はい
封入物は「志願者自身の富山大学医学部医学科総合型選抜の出願書類のみ」ですか?	はい

封をしてから, 以下の事項を確認してください。	確認
宛名シートの内容の確認, このチェックリストをすべて記入しましたか?	はい
郵便ポストに投函してはいけません。	はい
郵便局の窓口で「書留速達郵便」扱いとしてください。 ※窓口で渡される, 「書留速達郵便物受領証」を保管しておいてください。	はい
令和6年11月25日(月)17時までに富山大学へ必着です (11月24日(日)以前の消印有効)。	はい

※ 詳細はもう一度「令和7年度医学部医学科総合型選抜学生募集要項」を熟読することによって, 必ず本人の責任で確認してください。

※ 本チェックリストは郵送する必要はありません。自宅で保管してください。

(問い合わせ先)

富山大学学務部入試課 TEL(076)445-6100 <https://www.u-toyama.ac.jp/admission/>

令和7年度大学入学共通テスト受験教科・科目確認表〔総合型選抜〕

・各学部等の大学入学共通テストの利用教科・科目（新教育課程による出題科目）

◎印は必須科目を表す。選択科目は選択範囲及び選択数に留意すること。

大学入学共通テスト 教科・科目 学部・学科等	国語	地理歴史 公民							数学①		数学②		理科					外国語				情報							
	国	地	地	日	世	公	政	公	公	地	数	数	数	数	数	地	生	化	物	物	生	化	地	英	ド	フ	中	韓	情
	理	理	本	界	史	共	治	共	史	理	学	学	学	学	学	学	物	学	理	理	理	理	理	語	イ	ラ	国	国	報
	探	探	史	史	史	・	・	・	・	・	学	学	学	学	学	基	基	基	基	理	理	理	理	語	語	語	語	語	語
研究	究	究	究	究	究	理	済	1	／	／	A	I	C	．	．	／	／	／	／	理	物	学	学	語	語	語	語	語	I
医学部医学科	◎	1科目							◎		◎		2科目						1科目				◎						

「地理歴史，公民」については第1解答科目の得点を採用します。

※1 地理総合／歴史総合／公共を選択する場合，3つの出題範囲のうち2つを選択解答してください。

あなたが受験する予定の科目																																	
大学入学共通テスト 教科・科目等	国語	地理歴史 公民							数学①			数学②			理科					外国語				情報									
	国	地	地	日	世	公	政	公	公	歴	地	数	数	数	数	数	数	地	生	化	物	物	生	化	地	英	ド	フ	中	韓	情		
	理	理	理	本	界	共	治	共	治	史	理	学	学	学	学	学	学	学	物	学	理	理	理	理	理	語	イ	ラ	国	国	報		
	探	探	探	史	史	史	・	・	・	総	総	学	学	学	学	学	学	基	基	基	基	基	基	基	基	語	ス	ン	語	語	報		
	究	究	究	総	総	総	倫	経	済	共	／	／	A	I	C	／	／	／	／	／	／	理	物	学	学	語	語	語	語	語	I		
受験科目記入欄																																	

あなたが令和7年度大学入学共通テストで受験する全ての教科・科目に○を付け，上表の「各学部等の大学入学共通テストの利用教科・科目」を参照し，志望学部等が課している科目に全て○が付いているか確認してください。

※令和7年度総合型選抜学生募集要項に記載されている各学部の「大学入学共通テストの利用教科・科目及び配点」も併せて参照すること。

指定された教科・科目（英語においては，リスニングを含む。）を全て受験してください。
不足の教科・科目があった場合は，失格となります。

令和7年度大学入学共通テスト受験教科・科目確認表[総合型選抜]

・各学部等の大学入学共通テストの利用教科・科目（旧教育課程履修者に対する経過措置）

◎印は必須科目を表す。選択科目は選択範囲及び選択数に留意すること。

大学入学共通テスト 教科・科目 ※1	地理歴史 公民																数学①				数学②				理科				外国語				情報							
	国語	地理総合探究	歴史総合探究	世界史総合探究	日本史総合探究	旧日本史A	旧日本史B	旧地理B	旧現代社会	旧政治・経済	旧倫理・経済	旧政治・経済	旧倫理・経済	旧数学A	旧数学I	旧数学II	旧数学B	旧数学C	旧数学B・Ⅱ	旧数学Ⅱ	旧簿記・会計	旧情報関係基礎	地学基礎	生物基礎	化学基礎	物理学基礎	地学基礎	生物基礎	化学基礎	物理学基礎	英語	ドイツ語	フランス語	中国語	韓国語	英語	旧情	旧報		
学部・学科等	国語	地理総合探究	歴史総合探究	世界史総合探究	日本史総合探究	旧日本史A	旧日本史B	旧地理B	旧現代社会	旧政治・経済	旧倫理・経済	旧政治・経済	旧倫理・経済	旧数学A	旧数学I	旧数学II	旧数学B	旧数学C	旧数学B・Ⅱ	旧数学Ⅱ	旧簿記・会計	旧情報関係基礎	地学基礎	生物基礎	化学基礎	物理学基礎	地学基礎	生物基礎	化学基礎	物理学基礎	英語	ドイツ語	フランス語	中国語	韓国語	英語	旧情	旧報		
医学部医学科	◎	※3	※3	※3	※3	※3	※3	※3	※3	※3	※3	※3	※3	1科目	1科目	1科目	1科目	1科目	1科目	1科目						2科目							1科目							1科目

「地理歴史、公民」については第1解答科目の得点を採用します。

※1 教科と科目の間の「○」は、旧教育課程履修者の経過措置科目を示します。

※2 地理総合／歴史総合／公共を選択する場合、3つの出題範囲のうち2つを選択解答してください。

※3 「地理歴史、公民」から1科目を選択。

あなたが受験する予定の科目

大学入学共通テスト 教科・科目等	受験科目記入欄																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
	国語	地理歴史・公民										数学①				数学②				理科				外国語		情報																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
		地理	歴史	公民	政治	地理	歴史	公民	政治	地理	歴史	公民	政治	地理	歴史	公民	政治	数学	数学	数学	数学	物理	化学	生物	地学	基礎	基礎	基礎	基礎	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語

あなたが令和7年度大学入学共通テストで受験する全ての教科・科目に○を付け、上表の「各学部等の大学入学共通テストの利用教科・科目」を参照し、志望学部等が課している科目に全て○が付いているか確認してください。

※令和7年度総合型選抜学生募集要項に記載されている各学部の「大学入学共通テストの利用教科・科目及び配点」も併せて参照すること。

指定された教科・科目（英語においては、リスニングを含む。）を全て受験してください。
不足の教科・科目があった場合は、失格となります。

(白紙)

受験番号	
------	--

富山大学総合型選抜自己推薦書

志望学部・学科	医 学 部 ・ 医 学 科
氏 名	
記 載 年 月 日	令 和 年 月 日

1 自分についてアピールしたいことを書いてください。

2 富山県内の地域医療にどのように貢献したいのか、あなたの考えを書いてください。

- (注) 1 必ず志願者本人が自筆で書いてください。
2 受験番号欄は記入しないでください。
3 本用紙はA4サイズで印刷してください。

(白紙)

確 約 書

私は、令和7年度富山大学医学部医学科総合型選抜「富山県一般枠」に合格した場合は、確実に、富山大学医学部医学科に入学し、将来、富山県内の地域医療に貢献したいという強い意志を持ち続け、学業等に励み、卒業後は、富山大学附属病院を基幹施設とする研修プログラムで、2年間の初期研修を含む3年間の臨床研修に従事することを確約いたします。

令和 年 月 日

本 人 現住所
署 名

保護者 現住所
署 名 (続柄)

富山大学長 宛

(注) 本用紙は、A4サイズで印刷し、卒業後の要件を十分に理解した上で、本人及び保護者が自筆で記入してください。

(白紙)

確 約 書

私は、令和7年度富山大学医学部医学科総合型選抜「富山県特別枠」に合格した場合は、確実に、富山大学医学部医学科に入学、卒業し、医師免許を取得した後、指定された臨床研修病院で2年間臨床研修を行い、その後引き続き、富山県地域医療確保修学資金貸与制度の規定により、富山県知事が指定する県内の医療機関において、地域医療に必要な診療科（小児科，外科※¹，産科，麻酔科，救急科，総合診療科，脳神経外科，感染症内科※²）に9年間（臨床研修を含めて11年間）※³勤務いたします。

以上、謹んで確約いたします。

令和 年 月 日

本 人 現住所
署 名

保護者 現住所
署 名 (続柄)

富山大学長 宛
富山県知事

(注) 本用紙は、A4サイズで印刷し、卒業後の要件を十分に理解した上で、本人及び保護者が自筆で記入してください。

※1 外科は、新専門医制度の基本領域における「外科」のみを指し、整形外科及び形成外科は含みません。なお、基本領域における「外科」を修了した後にサブスペシャリティ領域の専門分野「呼吸器外科，消化器外科，乳腺外科，小児外科」に従事する場合は返還免除の対象とします。

※2 基本領域「内科」を修了した後、サブスペシャリティ領域「感染症」の専門分野に従事する場合を対象とします。その場合に限り、修学資金の返還を免除します。（基本領域「内科」を修了後、感染症の専門分野に従事しなかった場合、基本領域「内科」の従事期間も返還免除の対象とはなりません。）

※3 9年間のうち、医師多数区域（富山市）以外の指定された医療機関等に4年以上勤務することとします。

(白紙)

【出願書類ではありません】

年 月 日

検定料返還請求書

富山大学長 宛

請求者（志願者）

フリガナ

氏 名

富山大学へ {
・出願しなかった
・二重に払い込んだ
・多く払い込んだ
} ため、下記のとおり検定料の返還を請求いたします。

請 求 金 額	金 円		
振 込 先 金 融 機 関 名			
支 店 名 ・ 出 張 所 名 等	支 店 出張所		
預 金 種 目	普通・当座・その他（ ）	口座番号	
口 座 名 義	フリガナ		請求者との続柄
	氏 名		
受 付 番 号	<u>インターネット出願サイトの受付番号を必ず記入してください。</u>		
住 所	〒 ー		
電 話 番 号	() ー		

※返還時の振込手数料は、受取人負担とします。

(白紙)

(白紙)



本学トップページ



医学部トップページ



入試資料請求ページ

入試に関する問い合わせ先

「入試に関する問い合わせ」は、原則として、志願者本人が行ってください。

担 当 等	問い合わせ先	
学務部入試課	TEL (076) 445-6100	〒930-8555 富山市五福3190
杉谷地区事務部学務課（入試担当）	TEL (076) 434-7138	〒930-0194 富山市杉谷2630

富山大学ウェブサイト URL : <https://www.u-toyama.ac.jp/admission/>

（本学トップページ）→「入試情報ページ」を確認してください。

授業科目名(英文名) ／Course title	医療学入門／Introduction latrology			
担当教員(所属)／Instructor	高村 昭輝(医学部), 石木 学(保健管理センター), 武島 健人(医学部医学科), 清水 光治(医学部医学科), 長谷川 ともみ(医学部看護学科), 堀 悦郎(医学部), 西谷 美幸(医学部看護学科), 貝沼 茂三郎(医学部), 西丸 広史(医学部医学科), 中川 崇(医学部医学科), 高岡 裕(附属病院), 土井 智章(医学部), 片桐 達雄(教養教育院), 杉森 保(教養教育院), 松谷 裕二(薬学部), 池田 恵介(薬学部), 伊井 みず穂(医学部看護学科), 宗 孝紀(薬学部)			
授業科目区分／Category	専門教育科目 医療プロフェッショナルリズムユニット			
地域課題解決型人材育成プログラム科目／COC+Course	地域課題解決科目	授業種別／Type of class	講義演習科目	
開講学期曜限／Period	2025年度／Academic Year 前期／Spring 金/Fri 2	対象所属／Eligible Faculty	医学部医学科／School of Medicine Department of Medicine	
時間割コード／Registration Code	151101	対象学年／Eligible grade	1年	単位数／Credits 1単位
ナンバリングコード／Numbering Code	1M1-87011-0500			
連絡先(研究室、電話番号、電子メールなど)／Contact	武島 健人(武島 健人 内線：7488 メールアドレス：m09063kt@med.u-toyama.ac.jp) 堀 悦郎(hori@med.u-toyama.ac.jp) 西谷 美幸(西谷 美幸(E-mail：nisitani@med.u-toyama.ac.jp)) 貝沼 茂三郎(内線 7392) 西丸 広史(E-mail：nishimar@med.u-toyama.ac.jp) 片桐 達雄(片桐達雄 富山大学杉谷キャンパス 共通研究棟6階 片桐准教授室 内線：2735 eMAIL：tookid@las.u-toyama.ac.jp) 杉森 保(医薬系(杉谷)キャンパス共同利用棟4階 化学准教授室 E-Mail：sugimori@ems.u-toyama.ac.jp) 松谷 裕二(薬品製造学、薬学部研究棟4階、(076)434-7530, matsuya@pha.u-toyama.ac.jp) 池田 恵介(薬学部研究棟3階 生体界面化学研究室 E-mail：kiked@pha.u-toyama.ac.jp) 宗 孝紀(tso@pha.u-toyama.ac.jp 薬学棟6階分子細胞機能学研究室 U3. School of Pharmacy and Pharmaceutical Sciences Bldg 6F, Laboratory of Molecular Cell Biology)			
オフィスアワー(自由質問時間)／Office hours	武島 健人(月、火、金 9:00～16:00) 堀 悦郎(平日の9時～19時に受け付けますが、授業等ですぐに返信できない場合もあります。) 西谷 美幸(西谷 美幸(メールで事前連絡してから訪問してください)) 貝沼 茂三郎(火曜日午後3時～午後5時) 西丸 広史(まずはメールで連絡をとること。) 片桐 達雄(前期 片桐講義担当週の木曜日・3限にメールで連絡をしてから五福B棟3階教員控え室にて。事前に連絡があれば、これ以外の時間でもかまいません。 後期 片桐講義担当週の木曜日・4限にメールで連絡をしてから五福B棟3階教員控え室にて。事前に連絡があれば、これ以外の時間でもかまいません tookid@las.u-toyama.ac.jp *学生の訪問歓迎します。) 杉森 保(原則として授業期間中の下記の日時(急用で不在の場合あり)または授業前後の時間帯に教室にて対応します。 【前期】火・水昼休み(11:30～12:30)、火曜5限～18:30頃、木曜16時頃～18:30頃(いずれもB31) 【後期】月曜5限後～18:30頃(B31)、木曜5限～18:30頃(B31) その他、事前にメール等で予約のうえ設定した日時に対応します。場所は別途指示します。) 松谷 裕二(随時、ただし、事前にメール等で連絡をお願いします) 池田 恵介(いつでも構いませんが、事前に連絡してください。) 宗 孝紀(いつでも可能(メールで事前連絡要) Please contact me in advance by email)			
Moodleコース統合時間割コード ／Moodle course join Registration Code				

Moodleコース登録教員名 ／Moodle course registered Instructor		
MoodleコースURL ／Moodle course URL		https://moodle52.u-toyama.ac.jp/course/view.php?idnumber=2025_151101
各種教育プログラム1／Various Educational programs1		
各種教育プログラム2／Various Educational programs2		
各種教育プログラム3／Various Educational programs3		
各種教育プログラム4／Various Educational programs4		
各種教育プログラム5／Various Educational programs5		
昨年度からの改善点／Changes from last year		
リアルタイム・アドバイス／Real-time advice 更新日		
対面授業のみで実施。 授業のガイドやレポートの提出にe-learningシステムとして、富山大学Moodle を利用します。		
授業のねらいとカリキュラム上の位置付け（一般学修目標） ／Course Objectives	教育目標 ／Educational Goals	
（全体） 豊かな人間性を持った「よき医療人」となるために、基本的な医療倫理，ヒューマニズムならびにプロフェッショナリズム，義務と裁量権，病者－医療者の基本的信頼関係，病む人の心理，欲求，行動，価値観，人生観，医療と地域社会との関わりについて総合的、行動科学的に理解し、生涯にわたって自らの行動規範として実践できる姿勢を身につけ，また病む人の心を理解し共感をもって温かく接することのできる医療人としての基本的態度を修得する。 （ユニット1）実務経験教員科目 将来チーム医療を担う医療系学部学生が「よき医療人」像をイメージできるようにするために，医学部医学科，看護学科，薬学部 of 全学生が学部横断的に共通の経験，認識を共有し，医療に関わる医学・薬学・看護学の実務者による語りを通して，医療系学生が職種間の連携と将来プロフェッショナル医療人として求められる，人の命の守護者としての基本的態度，適切な支援を行なうことができる技能と知識を身につける。臨床現場での実務経験を活かし、各内容について授業を実施する。 （ユニット2） 新入生医療学研修（立山研修） 大学生活の初めに悠大な立山の大自然の懐に入り、医学部薬学部 of 教育理念を学ぶとともに、協力、相互の規律正しい集団研修をとおして、学生教職員間の交流親睦を深め、今後の学園生活を豊かにすることを目的とする。 心肺蘇生講習会 医、薬、看護学生のグループによる心肺蘇生法講習（普通救命講習Ⅰ）を行う。 （ユニット3）実務経験教員科目 医療と社会において必要とされるコミュニケーションの意義について理解し、基本的なコミュニケーション技法を修得する。 患者-医療従事者の基本的関係を総合的に理解し、人々の生命と健康を守る専門職としての「医療人の責務」（プロフェッショナリズム）について学修する。 （ユニット4）実務経験教員科目 全人的医療を推進できる医療者となるために、医療の実務者や病む人，障がい者や老人の介護を担っている方，薬害被害に係わられた方の語りを通して，医療と社会との関係を理解する。 富山県立イタイイタイ病資料館を見学体験実習し、将来医療を担う医療系学生がイタイイタイ病（公害）について学ぶ。 ＊環境省委託事業「イタイイタイ病に関する次世代へのリスクコミュニケーション事業」学校課外学習 （ユニット5）実務経験教員科目 プライマリケアにとって重要な医療と福祉の連携を福祉施設、介護施設、医療施設での介護体験実習を通して理解できる。		
達成目標／Course Goals		

(ユニット1)

1. 医療に関わる職種を列挙し、各々の役割と関連性、職種間連携について説明できる
2. 人の命の守護者としての基本的態度、技能、知識について理解する
3. 病む人それぞれの人格と価値観を尊重し、自分自身の価値観との違いについて説明できる
4. 病む人の置かれている状況(痛み・不安・欲求・社会的背景等)を理解することができる
5. 自らの体験に基づいた、医療に対する社会ニーズの多様化を理解することができる
6. 個人情報保護およびプライバシーへの配慮が必要であることを理解する
7. 「よき医療人」像と、その多様性について他者と討議する

(ユニット2)

新入生医療学研修(立山研修)

心肺蘇生講習

(ユニット3)

1. 良好なコミュニケーションを行うための基本的な態度について説明できる。
2. 基本的な面接法について説明できる。
3. 相談者を面接に適切に導入することができる。
4. 各種の質問法を適切に使い分けすることができる。
5. 相談者の話を傾聴することができる。
6. 相談者の感情表現に対して適切な共感的表現を返すことができる。
7. 相談者の話した内容を確認し、明確化することができる。
8. 相談者の話の内容を要約し、言い残しがないかをたずねることができる。
9. 相談者に満足感を与えつつ面接を終結することができる。
10. 面接を通じて相談者との良好な関係を作り出すことができる。
11. 医療従事者にはプロフェッション(専門職)の自覚が大切な理由を説明できる。
12. 医療倫理学の歴史上で有力な、患者-医療従事者関係の基本モデルを説明できる。
13. 医療従事者のパターナリズムについて、強弱の違いと賛否両論を説明できる。

(ユニット4)

1. 保健医療福祉の動向について説明できる。
2. 医療の経済的側面について説明できる。
3. 患者を持つ家族の心理的・経済的負担について説明できる。
4. 医療者と患者との関係のあり方について説明できる。
5. 薬害と社会との関連について説明できる。
6. 公害(イタイイタイ病)に関する資料館を見学実習し実務経験者と接して、イタイイタイ病を理解する。

(ユニット5)

1. 要介護者とコミュニケーションができる。
2. 介護職スタッフとコミュニケーションができる。
3. 生活介護(食事、排泄、入浴)に参加する。
4. 要介護者の人権と生活の質(QOL)に配慮できる。
5. 福祉施設における介護支援のための共同作業に参加する。
6. 介護体験実習を自ら評価し、それを発表し、記録として残すことができる。

コンピテンシーとマイルストーンレベル

1-①②③④-C、2-①②③④-C、3-①②-C、8-①②③-C、9-①②-C、10-④⑤⑥⑦-C

授業計画(授業の形式、スケジュール等)/Class schedule

5つのユニットに分けて実施する。＊外部講師および施設の都合により日程の移動変更あり 講義、グループ討論と全体討議、演習または実習を組み合わせる。 医療関係者および講師の講演を聴き、与えられた課題についてレポートを提出する。 ユニット1 医療学概論 第1回 医療学概論講義（医学部長、薬学部長、看護学科長）、医療学入門授業オリエンテーション ユニット2 新入生医療学研修 第2-3回 医療学研修（医療系4学科グループ討議）、グループ学習および講義、演習、立山研修 第4-5回 心肺蘇生法講習、グループ学習および講義、演習 ユニット3 医療倫理、プロフェッショナリズム、コミュニケーション 第6回 コミュニケーション（外部講師）講義、全体討論 第7回 コミュニケーション（コーチング法）講義 第8回 医療倫理、プロフェッショナリズム 講義、演習 第9回 医療倫理、プロフェッショナリズム 講義、演習 ユニット4 医療と社会 第10回 医療と社会（外部講師）、講義 第11回 医療と社会、薬害と社会（外部講師）、講義、全体討論 第12回 医療と社会（外部講師）、講義 第13回 医療と社会（外部講師）、講義、全体討論 第-回 富山県立イタイイタイ病資料館 見学授業(4月実施) ユニット5 第15回 早期介護体験実習オリエンテーション 早期介護体験実習（学外施設） 実習後 早期介護体験実習事後グループワーク、発表、プレゼンテーション	
授業時間外学修（事前・事後学修）／Independent Study Outside of Class	
事前学修 ・・・事前学修のための参考文献や各授業の資料の有無はオリエンテーションで紹介され、Moodleにアップロードされるので、授業内容について調べて理解しておくこと（各講義でeラーニングを含めて1時間以上） 事後学修 ・・・授業終了後に示される課題についてレポート（臨床実習までの個人のポートフォリオとして保存する）提出のための資料や学習実習ノートを作成すること（ユニット毎に1時間以上）	
キーワード／Keywords	医療人、病者・医療者関係、職種間連携、医療倫理、プロフェッショナリズム、全人的医療、コミュニケーション、擬似体験、病者と社会、薬害、障がい児・者支援、医療的ケア児・者、難病支援・相談、介護、福祉、地域包括ケア、共生社会、アクティブラーニング、ICT活用、コミュニケーション能力、キャリア教育、領域横断的授業、実務経験教員科目、SDGs科目
履修上の注意／Notices	ユニット全体 欠席したり課題の提出を怠ったりすると単位の修得は困難となります。定められた期限までに課題・レポートの提出を行わない場合には単位を付与しません。
教科書／Required Text	
参考書／Required Materials	
教科書・参考書に関するその他通信欄	特に推薦する参考図書はありませんが、インターネットなどを利用して正しい情報を選び、授業の準備をしてください。

成績評価の方法／Evaluation	(全体) 100% 全体で3分の2以上出席している者、心肺蘇生講習の授業修了者を評価する。 各ユニットは各ユニット毎に3分の2以上出席している者を評価する。 レポートによる評価を総合的に評価する。 5ユニットの評価点を合計して評価する。 定められた期限までに課題・レポートの提出を行わない場合には単位を付与しません。 評価者(評価作成者): 担当教員に記載の教員 (ユニット1および4) 20% レポートによる評価。レポートは課題に対して、自分はどのように考えるのかを述べることをできることを基準に判断する (ユニット2) 20% 新入生医療学研修では班別・全体討論による形成的評価を行う討論のテーマは、別に連絡する。討論のレポートにより評価する。立山研修の参加とアクティビティへの積極的な参加により評価する。心肺蘇生法講習は心肺蘇生法の実践を評価する (ユニット3) 20% レポートによる総括的評価。 既存の意見を踏まえた上で、自分の考えを述べることを判断基準とする。 (ユニット5) 20% 1. 実習発表の実施 2. 実習報告書の作成と提出 受入施設の指導員による実習学生の行動、意識、態度からの個別評価を行う。
関連科目／Related course	医学概論、薬学概論、看護学概論
リンク先URL ／URL of syllabus or other information	
備考／Notes	学習方法は、医学部(医学科, 看護学科)薬学部(薬学科, 創薬科学科)とともにPBL,SGDを取り入れ、介護体験実習の報告としてグループでプレゼンテーションする。

授業計画詳細／Course schedule

回 (日時) ／Time (date and time)	主題と位置付け (担当) ／Subjects and instructor's	学修方法と内容 ／Methods and contents	備考 ／Notes
4/9	イタイイタイ病資料館見学 (予定)	見学ツアー	日程調整中
4/11	ユニット1：医療学概論 (医学部長、薬学部長、看護学科長、医療人教育室)	講義 (医療学概論) 医学部長、薬学部長、看護学科長	
4/25	ユニット2：新入生医療学研修 (医療学研修タスクチーム、心肺蘇生講習タスクチーム)	新入生医療学研修 (全体討論)	
4/25	ユニット2：新入生医療学研修 (医療学研修タスクチーム、心肺蘇生講習タスクチーム)	新入生医療学研修 (全体討論)	
5/9	ユニット2：心肺蘇生講習会 (医療学研修タスクチーム、心肺蘇生講習タスクチーム、救急災害医学講座、消防関係の講師他)	心肺蘇生講習会	垂直統合 (救急医学)
5/9	ユニット2：心肺蘇生講習会 (医療学研修タスクチーム、心肺蘇生講習タスクチーム、救急災害医学講座、消防関係の講師他)	心肺蘇生講習会	垂直統合 (救急医学)
5/16	ユニット3：コミュニケーションとプロフェッショナリズム (医療人教育室、外部講師)	講義、全体討論 医療に関する市民団体の活動を通して医療と社会との関係を考える。 外部講師 山口 育子先生 (認定非営利活動法人ささえあい医療人権センター COML)	講師の都合のため日時変更の可能性あり
5/23	ユニット3：コミュニケーションとプロフェッショナリズム (保健管理センター石木学准教授)	講義 コミュニケーションの基本的態度 コミュニケーションとコーチング法	講師の都合のため日時変更の可能性あり
5/30	ユニット3：個人情報保護	講義 これからある実習に等における個人情報保護について学ぶ	講師の都合のため日時変更の可能性あり
6/13	ユニット3：医療倫理とプロフェッショナリズム	講義 1) 概説：「患者 - 医療従事者」関係の基本モデルおよび「パターナリズム」について。 2) 事例検討：ドラマ「身体拘束はケアでしょうか？」を観て各自の考えをレポートにまとめる。	講師の都合のため日時変更の可能性あり
6/20	ユニット4：医療と社会 難病と難病支援講義 (医療人教育室、外部講師)	講義 医療、難病に関する市民団体の活動を通して医療と社会との関係を考える。 外部講師 (富山県難病相談・支援センター 相談支援員 他)	講師の都合のため日時変更の可能性あり
6/27	ユニット4：薬害と社会 (医療人教育室、外部講師)	講義、全体討論 薬害について 外部講師 花井 十伍先生 (特定非営利活動法人ネットワーク「医療と人権」理事)	講師の都合のため日時変更の可能性あり
7/4	ユニット4：医療と社会 (医療人教育室、外部講師)	講義 外部講師 患者と患者家族の立場から (岩井さん)	講師の都合のため日時変更の可能性あり
7/11	ユニット4：医療と社会 (医療人教育室、外部講師)	講義、全体討論 外部講師 惣万佳代子先生 (特定非営利活動法人デイスサービスこのゆびとーまれ理事長)	講師の都合のため日時変更の可能性あり
7/18	ユニット5：介護体験実習オリエンテーション (医療人教育室 他)	早期介護体験実習オリエンテーション	講師の都合のため日時変更の可能性あり
7/25	ユニット4：医療と社会 (医療人教育室 他)	予備日	

授業計画詳細／Course schedule

回（日時） ／Time (date and time)	主題と位置付け（担当） ／Subjects and instructor's	学修方法と内容 ／Methods and contents	備考 ／Notes
8/25-8/29, 9/1-9/5, 9/8-9/12のいずれか5日間	ユニット5：早期介護体験実習 （医療人教育室 他）	福祉施設における介護体験実習 介護を受けている人、障がい児（者）施設の入所者および介護に係る専門職との交流体験を通しての将来の医療人としての態度の学修	
9/26	ユニット5：早期介護体験実習事後 グループワーク （医療人教育室 他）	福祉施設における介護体験実習をグループでまとめて発表し、実習報告書を作成する。医療と福祉の連携を学習する。	

授業追加情報／Course add information

使用言語／Language	日本語（一部英語での講義）
アクティブ・ラーニングの実施／Active learning	実施あり
アクティブラーニングの実施内容／Contents of Active learning	グループワーク
実務経験教員科目／Work Experience teacher's subjects	該当する
データサイエンス科目／Data Science subjects	
他学部・他研究科等学生の履修可否／	聴講可

授業科目名(英文名) ／Course title	環境保健学／Environmental Health Science				
担当教員(所属)／Instructor	関根 道和(医学部医学科), 土田 暁子(医学部医学科)				
授業科目区分／Category	専門教育科目 社会医学ユニット				
地域課題解決型人材育成プログラム科目／COC+Course	地域課題解決科目	授業種別／Type of class	講義科目		
開講学期曜限／Period	2025年度／Academic Year 後期／Fall 他	対象所属／Eligible Faculty	医学部医学科／School of Medicine Department of Medicine		
時間割コード／Registration Code	155028	対象学年／Eligible grade	3年	単位数／Credits	1単位
ナンバリングコード／Numbering Code	1M1-87063-0400				
連絡先(研究室、電話番号、電子メールなど)／Contact					
オフィスアワー(自由質問時間)／Office hours					
Moodleコース統合時間割コード ／Moodle course join Registration Code					
Moodleコース登録教員名 ／Moodle course registered Instructor	関根 道和, 土田 暁子				
MoodleコースURL ／Moodle course URL	https://moodle52.u-toyama.ac.jp/course/view.php?idnumber=2025_155028				
各種教育プログラム1／Various Educational programs1	DS・情報科目				
各種教育プログラム2／Various Educational programs2					
各種教育プログラム3／Various Educational programs3					
各種教育プログラム4／Various Educational programs4					
各種教育プログラム5／Various Educational programs5					
昨年度からの改善点／Changes from last year					
リアルタイム・アドバイス／Real-time advice 更新日					
授業のねらいとカリキュラム上の位置付け(一般学修目標) ／Course Objectives	教育目標 ／Educational Goals				
社会・環境の健康影響、環境中の有害要因の生体影響について理解する。実務経験のある公衆衛生学講座の専門教員および学外の非常勤講師が、公衆衛生学、特に環境保健分野について体系的に講義する。					
達成目標／Course Goals					
疫学と予防医学、生活習慣とリスク、社会・環境と健康、国際保健					
1 予防医学(一次、二次、三次予防)と健康保持増進(健康管理の概念・方法、健康診断・診査と事後指導)を概説できる。2-(2):C					
2 休養・心の健康(睡眠の質、不眠、ストレス対策、過重労働対策、自殺の予防)を説明できる。2-(2):C					
3 ライフステージに応じた健康管理と環境・生活習慣改善を説明できる。2-(2):C					
4 がんの疫学、がん対策の概要を説明できる。2-(2):C					
5 仕事と健康、環境と適応、生体環境系、病因と保健行動、公害と環境保全が健康と生活に与える影響を概説できる。2-(2):C					
6 産業保健(労働基準法等の労働関連法規を含む)、職場の健康管理を概説できる。					
7 感染症法・食品衛生法の概要と届出義務を説明できる。2-(2):C					
8 世界の保健・医療問題、UHC、保健関連SDGを概説できる。2-(2):C					
9 国際保健・医療協力にかかる主な機関・団体を説明できる。2-(2):C					
物理・化学的因子による疾患(中毒と環境要因によって生じる疾患)					
1 食中毒の病因、症候と予防法を説明できる。2-(2):C					
2 有機リン剤、有機塩素剤と有機溶剤による中毒の機序、診断と治療を説明できる。2-(2):C					
3 主な産業中毒、酸素欠乏症の要因について概説できる。2-(2):C					
4 じん肺・石綿肺の病因、診断について概説できる。2-(2):C					
5 重金属、青酸、ヒ素、パラコート、自然毒による中毒を概説できる。2-(2):C					
6 内分泌攪乱物質を含む化学物質の生体影響を説明できる。2-(2):C					
7 地球環境の変化、生態循環、生物濃縮と健康との関係を説明できる。2-(2):C					
授業計画(授業の形式、スケジュール等)／Class schedule					

授業計画の詳細を参照、担当教員については2025年10月ころ確定する予定	
授業時間外学修（事前・事後学修）／Independent Study Outside of Class	
課題にそった事前学修を0.5時間程度行うこと。また講義終了後は講義資料を用いて1時間程度事後学修を行うこと。	
キーワード／Keywords	実務経験教育科目、公衆衛生学、予防医学、健康保持増進、休養、産業保健、過重労働対策、がん対策、健康、疾病、環境医学、国際保健、食中毒、有機溶剤、産業中毒、酸素欠乏症、じん肺、石綿、化学物質、地球環境
履修上の注意／Notices	
教科書／Required Text	
参考書／Required Materials	
教科書・参考書に関するその他通信欄	教科書は使用しない。参考書は別途指示する。
成績評価の方法／Evaluation	筆記試験の結果を主に評価する。
関連科目／Related course	
リンク先URL ／URL of syllabus or other information	
備考／Notes	

授業計画詳細／Course schedule

回（日時） ／Time (date and time)	主題と位置付け（担当） ／Subjects and instructor's	学修方法と内容 ／Methods and contents	備考 ／Notes
1月6日1限	社会医学・公衆衛生学概論	社会医学・公衆衛生学の概念、取組みの概説	
1月6日2限	現代の環境問題・地球規模環境問題（土田）	現代の主要環境問題、地球規模環境問題（地球温暖化、オゾン層の破壊等）	
1月8日3限	職場の健康管理	職場の健康管理の実際、働き方改革 特に過重労働・メンタルヘルス対策、VDT対策	
1月8日4限	産業中毒、有機溶剤	有機リン剤、有機塩素剤と有機溶剤による中毒の機序、主な産業中毒	
1月13日1限	職業性疾病：じん肺、酸素欠乏症、作業態様による障害	じん肺の発症要因と対策、石綿関連疾患の病態、酸素欠乏症の病態、職業性腰痛	
1月13日2限	食中毒（土田）	細菌性・ウイルス性食中毒の概要と予防	
1月15日3限	がんの疫学	がん登録、がん検診、がんの疫学	
1月15日4限	国際保健	国際保健・医療協力、世界の保健・医療問題、保健関連SDGs	
1月26日2限	ユニット試験		

授業追加情報／Course add information

使用言語／Language	日本語と英語
アクティブ・ラーニングの実施／Active learning	実施あり
アクティブラーニングの実施内容／Contents of Active learning	演習
実務経験教員科目／Work Experience teacher's subjects	該当する
データサイエンス科目／Data Science subjects	はい
他学部・他研究科等学生の履修可否／	否

授業科目名(英文名) ／Course title	疫学／Epidemiology			
担当教員(所属)／Instructor	関根 道和(医学部医学科), 立瀬 剛志(医学部医学科), 山田 正明(医学部医学科)			
授業科目区分／Category	専門教育科目 医学・医療と社会			
地域課題解決型人材育成プログラム科目／COC+Course	地域課題解決科目	授業種別／Type of class	講義科目	
開講学期曜限／Period	2025年度／Academic Year 後期／Fall 他	対象所属／Eligible Faculty	医学部医学科／School of Medicine Department of Medicine	
時間割コード／Registration Code	155037	対象学年／Eligible grade	3年	単位数／Credits 1.0
ナンバリングコード／Numbering Code	1M1-87063-0300			
連絡先(研究室、電話番号、電子メールなど)／Contact				
オフィスアワー(自由質問時間)／Office hours				
Moodleコース統合時間割コード ／Moodle course join Registration Code	155037			
Moodleコース登録教員名 ／Moodle course registered Instructor	関根 道和, 立瀬 剛志, 山田 正明			
MoodleコースURL ／Moodle course URL	https://moodle52.u-toyama.ac.jp/course/view.php?idnumber=2025_155037			
各種教育プログラム1／Various Educational programs1	DS・情報科目			
各種教育プログラム2／Various Educational programs2				
各種教育プログラム3／Various Educational programs3				
各種教育プログラム4／Various Educational programs4				
各種教育プログラム5／Various Educational programs5				
昨年度からの改善点／Changes from last year				
リアルタイム・アドバイス／Real-time advice 更新日 2025/01/30				
対面授業として実施します。ただし、大学から遠隔授業実施の指示がでている場合は、遠隔授業として実施します。				
疫学や予防医学から保健医療制度までの広い分野であるが、日々の臨床現場での対応にも直結した重要な分野であり、しっかりと勉強していただきたい。毎回小テストを実施するので復習しておくこと。				
授業のねらいとカリキュラム上の位置付け(一般学修目標) ／Course Objectives	教育目標 ／Educational Goals			
モデルコアカリキュラムにおける「B-1-3) 根拠に基づいた医療<EBM>」と「B-1-4) 疫学と予防医学」を学修する。3名の教員全員が疫学について、研究や学会活動、行政委員活動を行っている。また、自身の疫学・予防医学的研究や健康政策に関する自治体の事業策定の経験を生かした教育を行う。健康を個人レベル、臓器レベルで診るだけでなく、集団や社会といった大きな視点から診る力を養っていただきたい。				
達成目標／Course Goals				

疫学における基本的知識を理解する。	
① 根拠に基づいた医療<EBM>の5つのステップを列挙できる。(1 - ①②③④) C	
② Patient, population, problem, intervention (exposure), comparison, outcome <PICO (PECO)>を用いた問題の定式化ができる。(2 - ①③) C	
③ 研究デザイン(観察研究(記述研究、横断研究、症例対照研究、コホート研究)、介入研究(臨床研究、ランダム化比較試験)、システマティックレビュー、メタ分析(メタアナリシス))を概説できる。(2 - ②④) B	
④ データベースや二次文献からのエビデンス、診療ガイドラインを検索することができる。(3 - ①②) C	
⑤ 得られた情報の批判的吟味ができる。(4 - ①-⑤) B	
⑥ 診療ガイドラインの種類と使用上の注意を列挙できる。(⑥-①-③) C	
⑦ 診療ガイドラインの推奨の強さについて違いを説明できる。(4 - ①④) C	
⑧ 人口統計(人口静態と人口動態)、疾病・障害の分類・統計(国際疾病分類International Classification of Diseases<ICD>)等を説明できる。(7 - ①～⑤) B	
⑨ 平均寿命、健康寿命を説明できる。(10 - ①～⑦) B	
⑩ 罹患率と発生割合の違いを説明できる。(10 - ①～②) B	
⑪ 疫学とその応用(疫学の概念、疫学指標(リスク比、リスク差、オッズ比)とその比較(年齢調整率、標準化死亡比(standardized mortality ratio <SMR>))、バイアス、交絡)を説明できる。(6 - ②③) C	
⑫ 予防医学(一次、二次、三次予防)と健康保持増進(健康管理の概念・方法、健康診断・診査と事後指導)を概説できる。(5 - ②) C	
授業計画(授業の形式、スケジュール等) / Class schedule	
講義および演習形式。 第1回から8回まで。授業計画詳細を参照のこと。	
授業時間外学修(事前・事後学修) / Independent Study Outside of Class	
参考書を用いて講義前に1時間程度、講義後に1時間程度の参考書や医師国家試験の過去問題等による振り返りが望ましい。	
キーワード / Keywords	DS科目,横断研究、縦断研究、症例対照研究、コホート研究、介入研究、ランダム化比較試験、メタアナリシス、システマティックレビュー、罹患率、有病率、死亡率、致命率、オッズ比、相対危険度、寄与危険度、年齢調整死亡率、標準化死亡比、平均寿命、健康寿命、疾病分類、静態統計、動態統計、診療ガイドライン、EBM、PICO、実務経験教員科目、DS科目(情報科目)、SDGs科目
履修上の注意 / Notices	コアカリキュラムにおける疫学・予防医学および保健・医療・福祉と介護の制度に相当する内容であり、医師国家試験における出題ウエイトも高く、卒後臨床においても日々これらの領域の知識と技術、臨床場面での適用が求められるので、しっかりと勉強していただきたい。
教科書 / Required Text	
はじめて学ぶやさしい疫学：日本疫学会標準テキスト / 日本疫学会,日本疫学会 監修 — 南江堂, 2024< https://opac.lib.u-toyama.ac.jp/opc/xs/search/%2A?os[isbn]=9784524204489 >	
参考書 / Required Materials	
疫学の事典 / 日本疫学会,三浦,克之,玉腰,暁子,… — 朝倉書店, 2023< https://opac.lib.u-toyama.ac.jp/opc/xs/search/%2A?os[isbn]=9784254310979 >,疫学マニュアル / 柳川, 洋, 1936-,坂田, 清美,… — 南山堂, 2012< https://opac.lib.u-toyama.ac.jp/opc/xs/search/%2A?os[isbn]=9784525183578 >	
教科書・参考書に関するその他通信欄	上記のはじめて学ぶやさしい疫学が教科書になります。
成績評価の方法 / Evaluation	授業内レポート 0-10% ＜評価基準＞各授業内容を正しく理解しているか 筆記試験 90-100% 不合格者に対する再評価(再試験)は原則1回 評価者(評価作成者):「担当教員」に記載の教員
関連科目 / Related course	社会医学実習
リンク先URL / URL of syllabus or other information	疫学健康政策学講座: http://www.med.u-toyama.ac.jp/healpro/index-j.html
備考 / Notes	講義の順番は、教員の出張等の関係で変更になる可能性があります。 水平統合(社会医学実習および富山医療学)

授業計画詳細／Course schedule

回（日時） ／Time (date and time)	主題と位置付け（担当） ／Subjects and instructor's	学修方法と内容 ／Methods and contents	備考 ／Notes
第1回（12月5日3限）	疫学の原理と方法 1（関根教授）	横断研究、縦断研究、症例対照研究、コホート研究、実務経験教員科目	金曜 水平統合（社会医学実習および富山医療学）
第2回（12月5日4限）	疫学の原理と方法 2（関根教授）	介入研究、ランダム化比較試験、メタアナリシス、システマティックレビュー	金曜 水平統合（社会医学実習および富山医療学）
第3回（12月12日3限）	疫学指標（関根教授）	罹患率、有病率、死亡率、致命率、年齢調整死亡率、標準化死亡比、疾病分類、静態統計、動態統計	金曜 水平統合（社会医学実習および富山医療学）
第4回（12月12日4限）	リスク指標（関根教授）	オッズ比、相対危険度、寄与危険度	金曜 水平統合（社会医学実習および富山医療学）
第5回（12月19日3限）	バイアスと交絡（関根教授）	点推定、区間推定、バイアス、交絡因子、制限、マッチング、層化、多変量解析	金曜 水平統合（社会医学実習および富山医療学）
第6回（12月19日4限）	スクリーニングと生活習慣病（山田准教授）	感度、特異度、的中率、疑陽性、偽陰性、ROC、生活習慣病	金曜 水平統合（社会医学実習および富山医療学）
第7回（1月9日3限）	疫学と健康政策（立瀬助教）	生命表、厚生指標、疫学と健康政策	金曜 対面で実施 水平統合（社会医学実習および富山医療学）
第8回（1月9日4限）	EBMと診療ガイドライン（山田准教授）	EBM、診療ガイドライン、PICO	金曜 対面で実施 水平統合（社会医学実習および富山医療学）
筆記試験（1月14日3限）	担当教員	大講義室にて	金曜 水平統合（社会医学実習および富山医療学）
再評価試験（1月30日2限）	担当教員	未定 人数次第	金曜 水平統合（社会医学実習および富山医療学）

授業追加情報／Course add information

使用言語／Language	日本語（英語：一部の説明）
アクティブ・ラーニングの実施／Active learning	実施あり
アクティブラーニングの実施内容／Contents of Active learning	問題演習やクリッカーによる能動的な理解度確認
実務経験教員科目／Work Experience teacher's subjects	該当する
データサイエンス科目／Data Science subjects	該当する
他学部・他研究科等学生の履修可否／	不可

授業科目名(英文名) ／Course title	疫学／Epidemiology			
担当教員(所属)／Instructor	関根 道和(医学部医学科), 立瀬 剛志(医学部医学科), 山田 正明(医学部医学科)			
授業科目区分／Category	専門教育科目 医学・医療と社会			
地域課題解決型人材育成プログラム科目／COC+Course	地域課題解決科目	授業種別／Type of class	講義科目	
開講学期曜限／Period	2025年度／Academic Year 後期／Fall 他	対象所属／Eligible Faculty	医学部医学科／School of Medicine Department of Medicine	
時間割コード／Registration Code	155037	対象学年／Eligible grade	3年	単位数／Credits 1.0
ナンバリングコード／Numbering Code	1M1-87063-0300			
連絡先(研究室、電話番号、電子メールなど)／Contact				
オフィスアワー(自由質問時間)／Office hours				
Moodleコース統合時間割コード ／Moodle course join Registration Code	155037			
Moodleコース登録教員名 ／Moodle course registered Instructor	関根 道和, 立瀬 剛志, 山田 正明			
MoodleコースURL ／Moodle course URL	https://moodle52.u-toyama.ac.jp/course/view.php?idnumber=2025_155037			
各種教育プログラム1／Various Educational programs1	DS・情報科目			
各種教育プログラム2／Various Educational programs2				
各種教育プログラム3／Various Educational programs3				
各種教育プログラム4／Various Educational programs4				
各種教育プログラム5／Various Educational programs5				
昨年度からの改善点／Changes from last year				
リアルタイム・アドバイス／Real-time advice 更新日 2025/01/30				
対面授業として実施します。ただし、大学から遠隔授業実施の指示がでている場合は、遠隔授業として実施します。				
疫学や予防医学から保健医療制度までの広い分野であるが、日々の臨床現場での対応にも直結した重要な分野であり、しっかりと勉強していただきたい。毎回小テストを実施するので復習しておくこと。				
授業のねらいとカリキュラム上の位置付け(一般学修目標) ／Course Objectives	教育目標 ／Educational Goals			
モデルコアカリキュラムにおける「B-1-3) 根拠に基づいた医療<EBM>」と「B-1-4) 疫学と予防医学」を学修する。3名の教員全員が疫学について、研究や学会活動、行政委員活動を行っている。また、自身の疫学・予防医学的研究や健康政策に関する自治体の事業策定の経験を生かした教育を行う。健康を個人レベル、臓器レベルで診るだけでなく、集団や社会といった大きな視点から診る力を養っていただきたい。				
達成目標／Course Goals				

疫学における基本的知識を理解する。	
① 根拠に基づいた医療<EBM>の5つのステップを列挙できる。(1 - ①②③④) C	
② Patient, population, problem, intervention (exposure), comparison, outcome <PICO (PECO)>を用いた問題の定式化ができる。(2 - ①③) C	
③ 研究デザイン(観察研究(記述研究、横断研究、症例対照研究、コホート研究)、介入研究(臨床研究、ランダム化比較試験)、システマティックレビュー、メタ分析(メタアナリシス))を概説できる。(2 - ②④) B	
④ データベースや二次文献からのエビデンス、診療ガイドラインを検索することができる。(3 - ①②) C	
⑤ 得られた情報の批判的吟味ができる。(4 - ①-⑤) B	
⑥ 診療ガイドラインの種類と使用上の注意を列挙できる。(⑥-①-③) C	
⑦ 診療ガイドラインの推奨の強さについて違いを説明できる。(4 - ①④) C	
⑧ 人口統計(人口静態と人口動態)、疾病・障害の分類・統計(国際疾病分類International Classification of Diseases<ICD>)等を説明できる。(7 - ①～⑤) B	
⑨ 平均寿命、健康寿命を説明できる。(10 - ①～⑦) B	
⑩ 罹患率と発生割合の違いを説明できる。(10 - ①～②) B	
⑪ 疫学とその応用(疫学の概念、疫学指標(リスク比、リスク差、オッズ比)とその比較(年齢調整率、標準化死亡比(standardized mortality ratio <SMR>))、バイアス、交絡)を説明できる。(6 - ②③) C	
⑫ 予防医学(一次、二次、三次予防)と健康保持増進(健康管理の概念・方法、健康診断・診査と事後指導)を概説できる。(5 - ②) C	
授業計画(授業の形式、スケジュール等)／Class schedule	
講義および演習形式。 第1回から8回まで。授業計画詳細を参照のこと。	
授業時間外学修(事前・事後学修)／Independent Study Outside of Class	
参考書を用いて講義前に1時間程度、講義後に1時間程度の参考書や医師国家試験の過去問題等による振り返りが望ましい。	
キーワード／Keywords	DS科目,横断研究、縦断研究、症例対照研究、コホート研究、介入研究、ランダム化比較試験、メタアナリシス、システマティックレビュー、罹患率、有病率、死亡率、致命率、オッズ比、相対危険度、寄与危険度、年齢調整死亡率、標準化死亡比、平均寿命、健康寿命、疾病分類、静態統計、動態統計、診療ガイドライン、EBM、PICO、実務経験教員科目、DS科目(情報科目)、SDGs科目
履修上の注意／Notices	コアカリキュラムにおける疫学・予防医学および保健・医療・福祉と介護の制度に相当する内容であり、医師国家試験における出題ウエイトも高く、卒後臨床においても日々これらの領域の知識と技術、臨床場面での適用が求められるので、しっかりと勉強していただきたい。
教科書／Required Text	
はじめて学ぶやさしい疫学：日本疫学会標準テキスト / 日本疫学会,日本疫学会 監修 — 南江堂, 2024< https://opac.lib.u-toyama.ac.jp/opc/xs/search/%2A?os[isbn]=9784524204489 >	
参考書／Required Materials	
疫学の事典 / 日本疫学会,三浦,克之,玉腰,暁子,⋯ — 朝倉書店, 2023< https://opac.lib.u-toyama.ac.jp/opc/xs/search/%2A?os[isbn]=9784254310979 >,疫学マニュアル / 柳川, 洋, 1936-,坂田, 清美,⋯ — 南山堂, 2012< https://opac.lib.u-toyama.ac.jp/opc/xs/search/%2A?os[isbn]=9784525183578 >	
教科書・参考書に関するその他通信欄	上記のはじめて学ぶやさしい疫学が教科書になります。
成績評価の方法／Evaluation	授業内レポート 0-10% ＜評価基準＞各授業内容を正しく理解しているか 筆記試験 90-100% 不合格者に対する再評価(再試験)は原則1回 評価者(評価作成者)：「担当教員」に記載の教員
関連科目／Related course	社会医学実習
リンク先URL ／URL of syllabus or other information	疫学健康政策学講座： http://www.med.u-toyama.ac.jp/healpro/index-j.html
備考／Notes	講義の順番は、教員の出張等の関係で変更になる可能性があります。 水平統合(社会医学実習および富山医療学)

授業計画詳細／Course schedule

回（日時） ／Time (date and time)	主題と位置付け（担当） ／Subjects and instructor's	学修方法と内容 ／Methods and contents	備考 ／Notes
第1回（12月5日3限）	疫学の原理と方法 1（関根教授）	横断研究、縦断研究、症例対照研究、コホート研究、実務経験教員科目	金曜 水平統合（社会医学実習および富山医療学）
第2回（12月5日4限）	疫学の原理と方法 2（関根教授）	介入研究、ランダム化比較試験、メタアナリシス、システマティックレビュー	金曜 水平統合（社会医学実習および富山医療学）
第3回（12月12日3限）	疫学指標（関根教授）	罹患率、有病率、死亡率、致命率、年齢調整死亡率、標準化死亡比、疾病分類、静態統計、動態統計	金曜 水平統合（社会医学実習および富山医療学）
第4回（12月12日4限）	リスク指標（関根教授）	オッズ比、相対危険度、寄与危険度	金曜 水平統合（社会医学実習および富山医療学）
第5回（12月19日3限）	バイアスと交絡（関根教授）	点推定、区間推定、バイアス、交絡因子、制限、マッチング、層化、多変量解析	金曜 水平統合（社会医学実習および富山医療学）
第6回（12月19日4限）	スクリーニングと生活習慣病（山田准教授）	感度、特異度、的中率、疑陽性、偽陰性、ROC、生活習慣病	金曜 水平統合（社会医学実習および富山医療学）
第7回（1月9日3限）	疫学と健康政策（立瀬助教）	生命表、厚生指標、疫学と健康政策	金曜 対面で実施 水平統合（社会医学実習および富山医療学）
第8回（1月9日4限）	EBMと診療ガイドライン（山田准教授）	EBM、診療ガイドライン、PICO	金曜 対面で実施 水平統合（社会医学実習および富山医療学）
筆記試験（1月14日3限）	担当教員	大講義室にて	金曜 水平統合（社会医学実習および富山医療学）
再評価試験（1月30日2限）	担当教員	未定 人数次第	金曜 水平統合（社会医学実習および富山医療学）

授業追加情報／Course add information

使用言語／Language	日本語（英語：一部の説明）
アクティブ・ラーニングの実施／Active learning	実施あり
アクティブラーニングの実施内容／Contents of Active learning	問題演習やクリッカーによる能動的な理解度確認
実務経験教員科目／Work Experience teacher's subjects	該当する
データサイエンス科目／Data Science subjects	該当する
他学部・他研究科等学生の履修可否／	不可

授業科目名(英文名) ／Course title	富山医療学／Medical Care and Health Services in Toyama				
担当教員(所属)／Instructor	関根 道和(医学部医学科), 山田 正明(医学部医学科), 稲寺 秀邦(医学部医学科)				
授業科目区分／Category	専門教育科目 社会における医療の役割の理解				
地域課題解決型人材育成プログラム科目／COC+Course	地域関連科目	授業種別／Type of class	講義科目		
開講学期曜限／Period	2025年度／Academic Year 後期／Fall 火/Tue 3, 火/Tue 4	対象所属／Eligible Faculty	医学部医学科／School of Medicine Department of Medicine		
時間割コード／Registration Code	155036	対象学年／Eligible grade	3年	単位数／Credits	1.0
ナンバリングコード／Numbering Code	1M1-87063-0800				
連絡先(研究室、電話番号、電子メールなど)／Contact					
オフィスアワー(自由質問時間)／Office hours					
Moodleコース統合時間割コード ／Moodle course join Registration Code	155036				
Moodleコース登録教員名 ／Moodle course registered Instructor	関根 道和, 芳村 直樹, 立瀬 剛志, 山田 正明, 峯村 正実, 絹川 弘一郎, 藤井 努, 安田 一朗				
MoodleコースURL ／Moodle course URL	https://moodle52.u-toyama.ac.jp/course/view.php?idnumber=2025_155036				
各種教育プログラム1／Various Educational programs1					
各種教育プログラム2／Various Educational programs2					
各種教育プログラム3／Various Educational programs3					
各種教育プログラム4／Various Educational programs4					
各種教育プログラム5／Various Educational programs5					
昨年度からの改善点／Changes from last year					
リアルタイム・アドバイス／Real-time advice 更新日					
授業のねらいとカリキュラム上の位置付け(一般学修目標) ／Course Objectives	教育目標 ／Educational Goals				
富山県の最先端医療を含む医療の現状と課題について説明ができ、地域の実態にあった医療の実践と方策について提言できる。実務経験のある学内・学外の教員が、富山県の医療について様々な視点から体系的に講義する。					
達成目標／Course Goals					
公衆衛生学における地域保健などの制度を理解し、地域の課題、特色を学ぶ。 1 富山の医療の歴史と現状を理解しその特徴を説明できる。10-②⑤⑥⑦ B 2 医療過疎地における地域医療について説明できる。10-②⑤⑥⑦ B 3 大学附属病院が地域医療に果たす役割を説明できる。1-①～④ C, 2-①～④ B, 5-①②③ B 4 地域医療における医師会の役割について理解できる。10-②⑤⑥⑦ B、9-①② 5 保険制度、医療行政、医療に関するおもな法令について説明できる。2-①～④C, 6 富山県で行われている最先端医療の内容を説明できる。5-①～③ B 7 富山県の公衆衛生上の課題について説明できる。10-②⑦ B 8 富山県の地域保健、母子保健、高齢者保健の現状と課題について説明できる。10-⑤⑥⑦ B 9 富山県の医療課題に対する解決策を提言できる。4-①-④ C, 10-⑥⑦ B,					
授業計画(授業の形式、スケジュール等)／Class schedule					
授業計画詳細を参照					
授業時間外学修(事前・事後学修)／Independent Study Outside of Class					
課題にそった事前学修を0.5時間程度行い、講義終了後は講義資料を用いて1時間程度事後学修を行うこと。自ら問題意識を持ち積極的にのぞむこと。					

キーワード／Keywords	実務経験教員科目、地域医療、地域保健、保健、福祉、介護、医療連携、病診連携、特定機能病院、医療保険、保健医療行政、医療体制、医事法制、医師会
履修上の注意／Notices	
教科書／Required Text	
参考書／Required Materials	
	シンプル衛生公衆衛生学 / 小山, 洋, 1956-, 辻, 一郎, ... — 南江堂, 2024< <a "9784524210220"="" href="https://opac.lib.u-toyama.ac.jp/opc/xs/search/%2A?os[isbn]=">https://opac.lib.u-toyama.ac.jp/opc/xs/search/%2A?os[isbn]=""9784524210220 >
教科書・参考書に関するその他通信欄	担当教員が個別に指示する。
成績評価の方法／Evaluation	各講義後に行う理解度テスト、個人レポート から総合的に評価（A～D評価）する。（計100%） 評価者（評価作成者）：「担当教員」に記載の教員 試験は行わない。
関連科目／Related course	
リンク先URL ／URL of syllabus or other information	
備考／Notes	水平統合（疫学および環境保健学）

授業計画詳細／Course schedule

回 (日時) ／Time (date and time)	主題と位置付け (担当) ／Subjects and instructor's	学修方法と内容 ／Methods and contents	備考 ／Notes
1月20日 火3限	医師法・医療法 (疫学・健康政策学 関根) 井、安田)	医師法・医療法をはじめ、刑法・民法など関連法規を含む法令	日医工にて 水平統合 (疫学および環境保健学)
1月20日 火4限	地域・母子・学校保健 (疫学・健康政策学 山田)	地域保健、母子保健、学校保健の現状や施策	水平統合 (疫学および環境保健学)
1月27日 火3限	高齢期・障害者保健 (疫学・健康政策学 立瀬)	社会保障制度を含む高齢者保健・障害者保健	水平統合 (疫学および環境保健学)
1月27日 火4限	富山の地域医療と臨床研修 (地域医療総合支援学講座 峯村、卒後臨床研修センター長 中島)	富山の医師不足、地域医療の現状 初期臨床研修と専攻医研修の選択と重要性	水平統合 (疫学および環境保健学)
2月3日 火3限	地域医療と医師会 (富山県医師会 村上会長)	地域医療における富山県医師会の役割	水平統合 (疫学および環境保健学)
2月3日 火4限	富山県の最先端医療 1 (膵臓胆道センター 藤井、安田)	富山県の最先端医療1	
2月17日 火3限	富山県の最先端医療2 (循環器センター 絹川 芳村)	富山県の最先端医療2	
2月17日 火4限	富山県の保健医療行政 (富山県厚生部 厚生部長有賀)	富山県の保健医療体制・行政、医系技官の職務	水平統合 (疫学および環境保健学)

授業追加情報／Course add information

使用言語／Language	日本語（英語：一部の説明）
アクティブ・ラーニングの実施／Active learning	実施あり
アクティブラーニングの実施内容／Contents of Active learning	学生の能動的質疑応答
実務経験教員科目／Work Experience teacher's subjects	該当する
データサイエンス科目／Data Science subjects	
他学部・他研究科等学生の履修可否／	不可

授業科目名(英文名) ／Course title	社会医学実習／The Practice of Social Medicine and Public Health				
担当教員(所属)／Instructor	関根 道和(医学部医学科), 稲寺 秀邦(医学部医学科), 立瀬 剛志(医学部医学科), 山田 正明(医学部医学科), 松村 健太(医学部), 土田 暁子(医学部医学科)				
授業科目区分／Category	専門教育科目 社会医学ユニット				
地域課題解決型人材育成プログラム科目／COC+Course	地域課題解決科目	授業種別／Type of class	講義科目		
開講学期曜限／Period	2025年度／Academic Year 前期／Spring 火/Tue 3, 火/Tue 4	対象所属／Eligible Faculty	医学部医学科／School of Medicine Department of Medicine		
時間割コード／Registration Code	152223	対象学年／Eligible grade	4年	単位数／Credits	1単位
ナンバリングコード／Numbering Code	1M1-87063-0500				
連絡先(研究室、電話番号、電子メールなど)／Contact					
オフィスアワー(自由質問時間)／Office hours					
Moodleコース統合時間割コード ／Moodle course join Registration Code					
Moodleコース登録教員名 ／Moodle course registered Instructor					
MoodleコースURL ／Moodle course URL					
各種教育プログラム1／Various Educational programs1	DS・情報科目				
各種教育プログラム2／Various Educational programs2					
各種教育プログラム3／Various Educational programs3					
各種教育プログラム4／Various Educational programs4					
各種教育プログラム5／Various Educational programs5					
昨年度からの改善点／Changes from last year					
リアルタイム・アドバイス／Real-time advice 更新日					
授業のねらいとカリキュラム上の位置付け(一般学修目標) ／Course Objectives	教育目標 ／Educational Goals				
社会医学は基礎医学と臨床医学の知識を基にして、人間の健康・疾病現象を集団レベルで、あるいは社会との関連で明らかにしようとする学問である。本実習の目的は、学生諸君が自ら計画・実施・解析を行う各種の調査・研究を通して、人間の健康・疾病状態を社会医学的な観点から見る目を養うこと、すなわちPublic Health Mindを体得することにある。 疫学・健康政策学講座、公衆衛生学講座の教官が、計12程度のテーマを呈示する。そのうち1つのテーマを選択し、指導教官のもとで実習を行う。最近のテーマは「新型コロナウイルス感染症に予防施策と経済指標との関係」、「コロナ禍における自殺率の関連要因」、「骨粗鬆症の予防知識を評価する質問票開発」、「働き方改革と今後の産業保健」等である。実務経験のある専門教員が、公衆衛生学・社会医学の課題への取組みを実践的に指導する。					
達成目標／Course Goals					
社会医学における疫学、医学統計学を理解する。 社会医学の方法論(研究計画、データの収集と分析、まとめ方、発表法等)を体得する。2-(2):B, 8-(1):C, 8-(2):C, 8-(3):C					
授業計画(授業の形式、スケジュール等)／Class schedule					
全9回の実習のうち、初回は説明会を行い、班分けを行う。第2-8回の計7回が実習、最終回は実習発表会を行う。実習報告書を指定期日までに提出すること。					
授業時間外学修(事前・事後学修)／Independent Study Outside of Class					
指導教員の指示に従い、課題にそった事前学修を1時間程度行うこと。また終了後は資料等を用いて2時間程度の事後学修を行うこと。					
キーワード／Keywords	DS科目				
履修上の注意／Notices	実習で学外に出る時は、指導教官の許可を得るとともに、学外実習届けを学務グループ教務チームまで提出すること。				
教科書／Required Text					

参考書／Required Materials	
教科書・参考書に関するその他通信欄	各教官が個別に指示する。
成績評価の方法／Evaluation	取組状況、グループ内での発表や討論、実習報告書等から総合的に評価する。
関連科目／Related course	疫学、富山医療学
リンク先URL ／URL of syllabus or other information	
備考／Notes	水平統合（疫学、富山医療学、および医学統計）

授業計画詳細／Course schedule

回（日時） ／Time (date and time)	主題と位置付け（担当） ／Subjects and instructor's	学修方法と内容 ／Methods and contents	備考 ／Notes
4月1日 4限	実習説明会（担当教官全員）		水平統合（疫学、富山医療学、および医学統計）
4月8日 3,4限	実習（1）（各担当教官）		水平統合（疫学、富山医療学、および医学統計）
4月15日 3,4限	実習（2）（各担当教官）		水平統合（疫学、富山医療学、および医学統計）
4月22日 3,4限	実習（3）（各担当教官）		水平統合（疫学、富山医療学、および医学統計）
5月13日 3,4限	実習（4）（各担当教官）		水平統合（疫学、富山医療学、および医学統計）
5月20日 3,4限	実習（5）（各担当教官）		水平統合（疫学、富山医療学、および医学統計）
5月27日 3,4限	実習（6）（各担当教官）		水平統合（疫学、富山医療学、および医学統計）
6月3日 3,4限	実習（7）（各担当教官）		水平統合（疫学、富山医療学、および医学統計）
6月10日 3,4限	実習発表会（担当教官全員）		水平統合（疫学、富山医療学、および医学統計）

授業追加情報／Course add information

使用言語／Language	日本語と英語
アクティブ・ラーニングの実施／Active learning	実施あり
アクティブラーニングの実施内容／Contents of Active learning	実習
実務経験教員科目／Work Experience teacher's subjects	該当する
データサイエンス科目／Data Science subjects	はい
他学部・他研究科等学生の履修可否／	

診療参加型臨床実習の手引き

自 2024 年 12 月 2 日
至 2026 年 7 月 24 日

2024年11月

富 山 大 学
医 学 部 医 学 科

救 急 科

1. 実習の基本方針と学習目標

No.	実習の基本方針と学習目標	包含される コンピテンシー	マイルストーン レベル
1	救急医療は医の原点であり，その原点を学ぶ。	3(6), (5), 2(2), (3)	A
2	救急医療の社会における役割を説明できる。	1(1), 2(2), 7(2)	A
3	救急医療において医師に求められる基本的知識を説明できる。	4, 5	A
4	災害医療における医師の役割を理解する。	7(4), (3)	A
5	事例を分析できることが出来る。	8(1), (2), (3)	A

2. 実 習 方 法

- 1) 救急診療の実際：救急診療の実際：災害・救命センター2階実習室で待機し，救急診療を見学する。患者の初期診療，問診，病状の把握と応急処置，検査計画の立案と治療の展開を理解する。また場合によっては実際の手技を指導医とともに行う。
- 2) ミニレクチャー：随時指導医から初期診察，心肺蘇生法，外傷初期診療，高気圧酸素治療などについてレクチャーを行う。
- 3) シミュレーターを用いた実習：BLS や AED，ACLS などの演習を行う。
- 4) 救急業務見学実習：近隣の消防署のご協力のもと救急業務見学を実施する。
- 5) プレゼンテーション：実際に経験した症例をもとに，さらに学んだことをまとめて指導医の前でプレゼンテーションする。

3. 実習上の特記事項

第1～3週の火曜日のいずれかは消防署救急業務実習があるので，参加すること。毎週水曜日は二次救急輪番日ですので，1～3週目のいずれかの水曜日は22：00までの実習延長とします。実習を延長した翌日木曜日 午後は代休とする。

参考テキスト

- ・救急診療指針(改訂5版)，日本救急医学会監修，へるす出版，ISBN 978-4-89269-945-0
- ・ICLSコースガイドブック(改訂5版)，日本救急医学会 ICLS コース企画運営委員会 ICLS コース教材開発ワーキンググループ編，羊土社，ISBN 978-4-7581-2396-9
- ・外傷初期診療ガイドラインJATEC(改訂第6版)，日本外傷学会/日本救急医学会監修，日本外傷学会外傷初期診療ガイドライン改訂第6版編集委員会編，へるす出版，ISBN 978-4-86719-014-2

救急科週間予定

第 1 週目

(曜)	午 前	午 後
月	8:00～ カンファレンス オリエンテーション	ER/ECU 実習 教授レクチャー 16:40～ カンファレンス (※参加は任意)
火	8:00～ カンファレンス ER/ECU 実習	(3週間の実習のうち1回のみ) 消防署救急業務実習 教授レクチャー 16:40～ カンファレンス (※)
水	8:00～ カンファレンス ER/ECU 実習	ER/ECU 実習 16:40～ カンファレンス (※) ～22:00 夜間 ER 実習
木	8:00～ 輪番明け拡大カンファレンス ER/ECU 実習	ER/ECU 実習 16:40～ カンファレンス (※) (水曜日夜間 ER 実習班は午後代休)
金	8:00～ カンファレンス ER/ECU 実習	ER/ECU 実習 教授レクチャー (口頭試問) 16:40～ カンファレンス (※)

第 2 週目

(曜)	午 前	午 後
月	8:00～ カンファレンス ER/ECU 実習	ER/ECU 実習 教授レクチャー 16:40～ カンファレンス (※参加は任意)
火	8:00～ カンファレンス ER/ECU 実習	(3週間の実習のうち1回のみ) 消防署救急業務実習 教授レクチャー 16:40～ カンファレンス (※)
水	8:00～ カンファレンス ER/ECU 実習	ER/ECU 実習 16:40～ カンファレンス (※) ～22:00 夜間 ER 実習
木	8:00～ 輪番明け拡大カンファレンス ER/ECU 実習	ER/ECU 実習 16:40～ カンファレンス (※) (水曜日夜間 ER 実習班は午後代休)
金	8:00～ カンファレンス ER/ECU 実習	ER/ECU 実習 教授レクチャー (口頭試問) 16:40～ カンファレンス (※)

第3週目

(曜)	午 前	午 後
月	8:00～ カンファレンス ER/ECU 実習, ICLS 実習※※	ER/ECU 実習 教授レクチャー 16:40～ カンファレンス (※)
火	8:00～ カンファレンス ER/ECU 実習, ICLS 実習※※	(3週間の実習のうち1回のみ) 消防署救急業務実習 教授レクチャー 16:40～ カンファレンス (※)
水	8:00～ カンファレンス ER/ECU 実習, ICLS 実習※※	ER/ECU 実習 16:40～ カンファレンス (※) ～22:00 夜間 ER 実習 教授へのプレゼン※※※
木	8:00～ 輪番明け拡大カンファレンス ER/ECU 実習, ICLS 実習※※	ER/ECU 実習 16:40～ カンファレンス (※) (水曜日夜間 ER 実習班は午後代休) 教授へのプレゼン※※※
金	8:00～ カンファレンス ER/ECU 実習, ICLS 実習※※	教授レクチャー (口頭試問) 16:40～ カンファレンス (※) 教授へのプレゼン※※※

- ・毎日 AM8:00に災害救命センター 2 階 実習室に集合 (カンファレンス同席)
- ・欠席した場合にはその日数に応じた補講 (こちらの指定する土曜日・日曜日の8:00-16:40) を受けること。
- ・事前にわかっている欠席 (部活動や他科の学会参加等) は、必ず事前に救急科指導教官に事情を説明し、許可を得ること。

※ 16:40からのカンファレンスについては、参加は任意とする。

※※ ICLS 実習：医療従事者のための蘇生実習。心臓血管系の緊急病態のうち、特に「突然の心停止に対する最初の10分間の対応と適切なチーム蘇生」を習得することを目標とする。

※※※ 教授へのプレゼンは第3週目水・木・金のうちいずれか1日で実施 (原則金曜日)

総 合 診 療 科

1. 実習の基本方針と学習目標

No.	実習の基本方針と学習目標	包含される コンピテンシー	マイルストーン レベル
1	総合診療医（家庭医，総合内科医）の役割を学ぶ。	3, 4, 5	C
2	大学病院と関連施設の両方で実習する。	2, 7	A
3	総合診療医に必要な知識，態度，技能を身につける。	3, 4, 5	A
4	地域医療について学ぶ。	7	C
5	総合診療の概要について説明でき，指導医と共に実践する。	1, 2, 3, 4, 9	B

2. 実 習 方 法

- 1) 1週目は大学で外来実習を中心に，総合診療の基本を学ぶ
- 2) 2週目は学外の病院実習で地域医療，多職種連携について学ぶ
- 3) 3週目は大学で総合診療について総合的に学習する

3. 実習上の特記事項

- 1) 病歴聴取と身体診察法の基本を学ぶ
- 2) 臨床推論の基本を学ぶ
- 3) 自ら学ぶ姿勢を身に着ける
- 4) 挨拶，時間を守るなど，社会人としての基本的な礼儀作法を身に付けていること
- 5) 院内では医学生としてふさわしい服装，態度で臨むこと

総合診療科 週間予定

第1週目

(曜)	午 前	午 後
月	ガイダンス 外来実習 PBL	レクチャー 臨床推論 (北) PBL フィードバック 症例カンファ
火	外来実習 PBL	レクチャー 総合診療 (河合) PBL フィードバック 症例カンファ
水	外来実習 PBL	実習 胸部の聴診 (黒岩) PBL フィードバック 症例カンファ
木	外来実習 PBL	レクチャー 地域の総合診療 (小川) PBL フィードバック 症例カンファ
金	外来実習 PBL	レクチャー 痛みの診察 (黒田格) PBL フィードバック Web カンファ

第2週目

(曜)	午 前	午 後
月	地 域 医 療 実 習	
火		
水		
木		
金		

第3週目

(曜)	午 前	午 後
月	ガイダンス 外来実習 Clinical short case	レクチャー 聞くバイタル (北) レクチャー (選択) 症例カンファ
火	外来実習 Clinical short case	レクチャー 臨床倫理 (河合) MGH case (黒田格) 症例カンファ
水	外来実習 Clinical short case	レクチャー 地域での研究 (荒幡) SDH (黒田萌) 症例カンファ
木	外来実習 Clinical short case	模擬診察 レクチャー 退院前カンファ (小川) 症例カンファ
金	外来実習 Clinical short case	学生発表 実習 POCUS (斎藤) 症例カンファ

- ※ 第1週第1日目は午前9:00までに医局カンファレンスルームに集合してください (火曜始まりの場合は8:30集合)。
 - ※ 詳細なスケジュールについては、初日のオリエンテーションで資料を配付する。
 - ※ レクチャーの実施時間、内容は講師の業務により変わることがあり、その都度事前に連絡します。
 - ※ UpToDate Anywhere への登録をお勧めします。 <https://www.lib.u-toyama.ac.jp/db/3208/>
杉谷キャンパス内で附属図書館のHP>UpToDate>UpToDate Anywhere について
(<https://www.lib.u-toyama.ac.jp/db/3208/>) 登録するとキャンパス外での利用やスマートフォンでのアプリ利用 (いずれも無料) が可能となります。
- PBL: Problem Based Learning MGH: Massachusetts General Hospital
SDH: Social Determinants of Health POCUS: Point of Care Ultrasound

地 域 医 療 臨 床 実 習

地域病院臨床実習プログラムの概要

2 0 2 5 年 度

地域病院臨床実習

はじめに

医学教育モデルコアカリキュラムでは、基本的診療能力の確実な習得として、臨床実習終了時までには到達すべき総合的な診療能力の基礎としての知識、技能、態度に関する目標が明確化され、地域医療に関しては、地域医療を担う意欲、使命感の向上のために入学時から段階的・有機的に関連づけて実施することにより効果的に体験を蓄積していくことが必要であるとされています。また、社会的ニーズへの対応として医療安全（患者および医療従事者の安全性確保）の観点、患者中心のチーム医療（医療分野における多職種連携）の観点、その他（少子高齢化、男女共同参画の促進）へ対応する観点から、各大学・大学病院へは臨床実習に参加する学生の適性と質を保証し、患者の安全とプライバシー保護に十分配慮した上で、診療参加型臨床実習の一層の充実が期待されています。

地域医療病院実習の目的

大学病院外の地域病院の診療を診療参加型実習にすることにより、地域の医療の実態にふれるとともに、地域社会で求められているチーム医療、医療安全、人間関係の重要性を理解し、地域医療を担う意欲、使命感の向上のために、医療機関での活動を体験して、地域における医療人の役割を習得することができる。

目標：

地域社会（へき地・離島を含む）で求められている保健・医療・福祉・介護等の活動を経験して、地域医療機関の実態や連携の必要性を学ぶ。

個別行動目標：

- 1)地域のプライマリ・ケアを理解する。
- 2)病診連携・病病連携を理解する。
- 3)地域の1～2次救急医療の実情を理解し、実践する。
- 4)地域の在宅医療の実情を理解し、実践する。
- 5)多職種連携のチーム医療を実践する。
- 6)地域における疾病予防・健康維持増進の活動を理解する。
- 7)その他：施設特有の活動を理解する。
- 8)院外実習で医学生としての態度を身につける。

実習方法について

1. 各病院での実習スケジュールに従った地域医療臨床実習を行う。
2. 配属病院および受け入れ実習生
原則1病院，1学生，4泊5日，宿舎等に泊まり込みで実習を行う。
宿泊施設のない病院では日帰り実習（宿直可）が行われる。
3. 出欠および実習時間について
 - (1) 毎日出席表に押印し，指導医に押印してもらうこと。
 - (2) 実習時間 8時30分～17時
実習の時間帯は原則的に上記のとおりであるが，実習の性格上その制約にとらわれないものとし，各病院の実習スケジュールならびに担当指導医の指示に従うこと。
4. 指導方法及び指導医
 - (1) 配属病院別スケジュール（別紙）
 - (2) 原則として指導医とのマンツーマンの指導
 - (3) 臨床実習にあたっての責任は，富山大学総合診療科と各病院の指導医が持つ。

大学指導責任者：

総合診療科 高村 昭輝 076-434-7244（事務補佐員 高木）

各病院連絡先：

糸魚川総合病院

〒941-8502 新潟県糸魚川市大字竹ヶ花457番地1, TEL：025-552-0280, FAX：025-552-3819

飛騨市民病院

〒506-1111 岐阜県飛騨市神岡町東町725番地, TEL：0578-82-1150, FAX：0578-82-1631

南砺市民病院

〒932-0211 富山県南砺市井波938番地, TEL：0763-82-1475, FAX：0763-82-1853

南砺家庭・地域医療センター

〒939-1518 富山県南砺市松原577番地, TEL：0763-22-3555 FAX：0763-22-3588

かみいち総合病院

〒930-0391 富山県中新川郡上市町法音寺51, TEL：076-472-1212 FAX：076-472-1213

あさひ総合病院

〒939-0798 富山県下新川郡朝日町泊477番地, TEL：0765-83-1160, FAX：0765-82-0401

富山市まちなか診療所

〒930-0083 富山県富山市総曲輪四丁目4番8号, TEL：076-461-3618 FAX：076-461-3604

富山協立病院

〒931-8313 富山県富山市豊田町1-1-8, TEL：076-433-1077, FAX：076-444-5724

ものがたり診療所

〒939-1315 富山県砺波市太田13824番地, TEL：0763-55-6100, FAX：0763-34-0101

- (4) 欠席，遅刻，早退する場合は，事前に届け出ること。

実習通院（通学）の交通は，原則公共交通機関を利用することとするが自己責任で自家用車通学を認める。公共交通機関を利用する場合，交通費相当の支援を行う。

- (5) 学生が行うことが許される医行為の範囲は富山大学医行為水準（別表）の通りである。

（厚生省健康政策局，臨床実習検討委員会－臨床実習検討委員会最終報告－の水準Ⅰに準ずる）

5. 学習評価

総括的な評価以外に，個別の評価表で評価する。

学生

- ・ポートフォリオ作成（毎日の振り返り，資料整理，学習内容整理）
- ・実習の自己評価，施設評価

各病院の指導医

- ・学生の評価とフィードバック
- ・アンケート実施（施設の評価）
- ・大学への報告（学生の出席状況，知識・技術・態度など）

大学指導責任者

- ・地域医療実習の総括評価（総合診療科担当）

臨床実習記録の記載要領

臨床実習記録は、患者から得た情報をもとにして診断、治療及び処置への思考過程の流れを学ぶとともに、指導医の行動を通して医師としてのふさわしい態度、習慣を身につけるために記載するものである。

実習日誌

- ①地域医療臨床実習前アンケート
- ②ポートフォリオシート（実習日毎）
- ③終了時アンケート

6. 合否判定

- ①原則全日出席
- ②ポートフォリオおよび自己評価表への記入
- ③CC-EPOC での評価

以上①②③を満たした場合、大学指導者の総括評価で合格と判定する。

なお、クリニカルクラークシップでの学習評価が卒業試験の成績に加えられ、最終評価となることがある。

不合格の場合、学生は指導医と相談の上、再履修と再評価を休暇中に受けることができる。

実習生は指導医の監督指導のもとで行動し、病院業務に支障を来さないよう心掛けること。

臨床実習生としてふさわしい行動をとること。

指導上の注意事項については富山大学附属病院臨床実習の概要の I～VI に準ずる。

その他の注意事項について

(1) 患者に対して

次のような注意事項を学生に説明してありますので、問題があった場合は患者のいないところで指導をしてください。

- ①患者に挨拶する。
- ②初対面時には自己紹介をする。面接技法を活用する。
- ③患者に触れて診察するときは、担当指導医の監督、指導のもとでなければならない。
- ④患者及びその家族に対しては、安楽、環境へ配慮し、不安を与えたり不快の念を与えないように留意する。
- ⑤実習中に知り得た患者に関する情報、事項などプライバシーの保護に留意し、他に漏らしてはならない。
- ⑥個々の病状や診療方針等については、直接患者様やその関係者に説明しない。

(2) 指導医，病院職員に対して

次のような注意事項を学生に説明してありますので，問題があった場合は直ちに指導してください。

- ①指導医，看護師や他の医療職員に挨拶すること。
- ②礼儀正しく謙虚に教えを請い，また指示に従うこと。
- ③欠席，遅刻，早退するときは速やかに指導医に連絡すること（連絡方法については別に知らせる）。
- ④職員とは融和をはかり，業務の支障とならないように注意すること。

(3) 学生について

- ①規定の時刻を厳守すること。
- ②清潔な白衣を着用すること。男性はネクタイを着用すること。
- ③所定のネームプレート（学校で使用するもの）を着用すること。
- ④髪，髭，爪の手入れなど身だしなみに注意し，身体を清潔にすること。
- ⑤学生が規則的生活を維持し，常時心身の調子を整えるように適宜注意を与えてください。

(4) 医療安全，医療事故防止について（IV指導事項等 4. 5. に準じて再掲）

- ①血液等を介する感染事故の防止対策については富山大学臨床実習の概要に準じて，各病院の事故マニュアルで対応していただきます。
- ②各病院診療科で発生が予見される事故については，それを回避するための対策を立て，学生ならびに指導医・職員間で周知徹底してください。
- ③大学病院では学生に一括して臨床実習における医行為実施に関する同意書を取得しています。同同意書に記載された医行為の実施は強制ではなく，学生の自由な意思に基づき，拒否しても成績評価には影響しないものとします。一旦実施を拒否した医行為については実習期間を通じて実施させず，見学のみにとどめさせていただきます。同同意書にて実施を拒否した学生には，各科のオリエンテーションおよび該当する医行為実施の前に，同意書を提示し拒否する旨を指導医に申し出るように説明しています。
- ④学生支援チームが手続き窓口になって「学生教育研究災害傷害保険」または「医学生総合保障制度」への任意加入を進めています。同保険へ加入している学生が実習中に傷害を受けた場合，補償金が支払われます。
- ⑤学生に医行為を行わせる前に，必要な知識と経験の有無を確かめ，十分でないと判断される場合は適切な指導をしてください。
- ⑥学生が医行為をする場合は，「臨床医学実習において学生が医行為を実施することについての患者のインフォームドコンセントの取得に関する指針」（別表）に従い，必要な場合には患者のインフォームドコンセントを取得した後に行わせてください。

⑦学生の医行為に関しては、指導医の判断に基づいて、適切な指導と監視を行ってください。

(5) 病院内控室・実習室図書室やパソコン使用等での注意

- ①ロッカーには必ず鍵をかけ、貴重品は置かないこと。
- ②鍵の管理を徹底し、使用後は守衛室へ返却すること。
- ③省エネ，節電に心がけること。
- ④器物を損傷しないこと。
- ⑤部屋の整理，整頓に注意すること。

(6) 宿泊施設，宿舎について

- ①宿舎等については各病院の規則を確認し，宿舎等利用における誓約書に署名，捺印すること。
- ②電気，ガス機器の取り扱いに注意すること。
- ③ゴミなどの処理についてあらかじめ確認し，放置しないこと

(7) 食事（昼食）について

各自持参するか，または職員食堂を利用すること。
各病院の実習状況に合わせてオリエンテーション時に確認する。

医 第 310 号
令和 7 年 8 月 14 日

厚生労働省医政局長 殿

富山県厚生部長
(公印省略)

地域の医師確保のための入学定員増に係る誓約書

令和 7 年 8 月 5 日付け 7 文科高第 666 号、医政発 0805 第 5 号に基づき、下記のとおり、令和 8 年度における地域の医師確保のための入学定員増を行うこととしました。

地域の医師確保等に関する計画、都道府県計画等に沿って、地域枠入学者が地域に定着するよう取組を行います。

記

増員数

12 名

- ・ 富山大学医学部における地域枠：10 名
- ・ 金沢大学医薬保健学域医学類における地域枠：2 名

担当：医務課医師・看護職員確保対策係
稲 田

TEL：076-444-3218

E-mail:aimu@pref.toyama.lg.jp

教 育 課 程 等 の 概 要																
（医学部医学科）																
科目 区分	授業科目の名称	配当年次	主要授 業科目	単位数			授業形態			基幹教員等の配置						備考
				必 修	選 択	自 由	講 義	演 習	実 験・ 実習	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手	基 幹 （ 助手 を除 く） の 教 員	
教 養 教 育 科 目	基礎科目															
	学術情報リテラシーⅠ	1①	○	1			○								1	※実習
	学術情報リテラシーⅡ	1①	○	1			○								1	※実習
	小計(2科目)			2	0	0				0	0	0	0		2	
	E S PⅠ (Level-based)	1①・②	○	1				○							1	
	E S PⅡ (Interest-based)	1③・④	○	1				○			1		4		1	
	基盤英語Ⅰ	1①・②	○	1				○							1	
	基盤英語Ⅱ	1③・④	○	1				○							1	
	小計(4科目)			4	0	0				0	1	0	4		4	
	導入学修A	1①	○	1				○					8		1	※講義
	導入学修B	1①	○	1				○		1						※講義
	小計(2科目)			2	0	0				1	0	0	8		1	
	情報化社会への対応（選択）															
	プログラミング基礎Ⅰ	1③	○		1		○								1	※実習
	プログラミング基礎Ⅱ	1④	○		1		○								1	※実習
	現代情報処理Ⅰ	1③	○		1		○								1	※実習
	現代情報処理Ⅱ	1④	○		1		○								1	※実習
	データサイエンスの世界	1③・④	○		1		○								1	
	データサイエンスの実践	1③・④	○		1		○								1	※実習
	データ分析基礎Ⅰ	1③	○		1		○								1	※実習
	データ分析基礎Ⅱ	1④	○		1		○								1	※実習
	小計(8科目)			0	8	0				0	0	0	0		8	
	国際化社会への対応（選択）															
	ドイツ語基礎Ⅰ	1①・②	○		1			○							1	
	ドイツ語基礎Ⅱ	1③・④	○		1			○							1	
	ドイツ語コミュニケーションⅠ	1①・②	○		1			○							1	
	ドイツ語コミュニケーションⅡ	1③・④	○		1			○							1	
	フランス語基礎Ⅰ	1①・②	○		1			○							1	
	フランス語基礎Ⅱ	1③・④	○		1			○							1	
	フランス語コミュニケーションⅠ	1①・②	○		1			○							1	
	フランス語コミュニケーションⅡ	1③・④	○		1			○							1	
	中国語基礎Ⅰ	1①・②	○		1			○							1	
	中国語基礎Ⅱ	1③・④	○		1			○							1	
	中国語コミュニケーションⅠ	1①・②	○		1			○							1	
	中国語コミュニケーションⅡ	1③・④	○		1			○							1	
	朝鮮語基礎Ⅰ	1①・②	○		1			○							1	
	朝鮮語基礎Ⅱ	1③・④	○		1			○							1	
	朝鮮語コミュニケーションⅠ	1①・②	○		1			○							1	
	朝鮮語コミュニケーションⅡ	1③・④	○		1			○							1	
	ロシア語基礎Ⅰ	1①・②	○		1			○							1	
	ロシア語基礎Ⅱ	1③・④	○		1			○							1	
	ロシア語コミュニケーションⅠ	1①・②	○		1			○							1	
	ロシア語コミュニケーションⅡ	1③・④	○		1			○							1	
	日本語アカデミックスキルⅠ	1①・②	○		1			○							1	
	日本語アカデミックスキルⅡ	1③・④	○		1			○							1	
	日本語コミュニケーションⅠ	1①・②	○		1			○							1	
	日本語コミュニケーションⅡ	1③・④	○		1			○							1	
	実用日本語	1③・④	○		1			○							1	
	多言語演習	1③・④	○		1		○								1	※実習
	異文化理解A	1①	○		1		○								1	
	異文化理解B	1②	○		1		○								1	
	多言語世界入門	1②	○		1		○								1	
	小計(29科目)			0	29	0				0	0	0	0		29	

科目 区分	授業科目の名称	配当年次	主要授 業科目	単位数			授業形態			基幹教員等の配置						備考
				必 修	選 択	自 由	講 義	演 習	実 験・ 実習	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手	基 幹 教 員 以 外 の 教 員	
教 養 教 育 科 目	基礎科目	始動学修：考察	10・20・30・40	○		1	○								1	※演習
		始動学修：実践	10・20・30・40	○		1		○							1	※講義
		健康・スポーツ論	1③	○		1	○								1	
		健康・スポーツ実践	1①・②	○	1				○						1	
		小計(4科目)			1	3	0			0	0	0	0		4	
	分野別科目	法学への扉	10・20・30・40	○		1	○								1	
		日本国憲法Ⅰ	10・20・30・40	○		1	○								1	
		日本国憲法Ⅱ	10・20・30・40	○		1	○								1	
		経済学への扉	10・20・30・40	○		1	○								1	
		経営学への扉	10・20・30・40	○		1	○								1	
		現代社会論	10・20・30・40	○		1	○								1	
		教育と社会	10・20・30・40	○		1	○								1	
		小計(7科目)			0	7	0			0	0	0	0		7	
	人文学	思想と倫理	10・20・30・40	○		1	○								1	
		こころの科学	10・20・30・40	○		1	○			1					1	
		多様性と文化	10・20・30・40	○		1	○								1	
		文学の世界	10・20・30・40	○		1	○								1	
		アート&デザイン	10・20・30・40	○		1	○								1	
		歴史の世界	10・20・30・40	○		1	○								1	
		発展人文学講義	10・20・30・40	○		1	○								1	
		小計(7科目)			0	7	0			1	0	0	0		7	
	統合科目	サステナビリティ	10・20・30・40	○		1	○			1					1	
		ウェルビーイング	10・20・30・40	○		1	○			9			3		4	
		人文と自然	10・20・30・40	○		1	○			2			3		2	
		自然と社会	10・20・30・40	○		1	○								1	
		社会と人文	10・20・30・40	○		1	○								1	
		小計(5科目)			0	5	0			10	0	0	0		5	
	高年次 教養	地域連携学修	20・20・30・40			2		○							1	
		発展コミュニケーション演習	20・20・30・40			1		○							1	※講義
		高年次教養ゼミナール	20・20・30・40			1		○							1	※講義
		小計(3科目)			0	0	4			0	0	0	0		3	
	理系基盤科目	解析学Ⅰ	1①	○	1		○								1	※演習
		解析学Ⅱ	1②			1	○								1	※演習
		物理学Ⅰ	1①	○		1	○								1	
		物理学Ⅱ	1②	○		1	○								1	
		物理学Ⅲ	1③	○		1	○								1	
		物理学Ⅳ	1④	○		1	○								1	
		化学・物理学実験	1①・②	○	1				○						1	
		基礎化学Ⅰ	1①	○	1		○								1	
		基礎化学Ⅱ	1②			1	○								1	
		生体有機化学Ⅰ	1③	○	1		○								1	
		生体有機化学Ⅱ	1④			1	○								1	
		生命科学Ⅰ	1①	○	1		○								1	
		生命科学Ⅱ	1②	○	1		○								1	
		生命科学Ⅲ	1③	○	1		○								1	
		生命科学Ⅳ	1④			1	○								1	
		生物学実験	1③・④			1			○						1	
		概説医療心理学	1①	○	1		○			1						
		小計(17科目)			8	4	5			1	0	0	0		16	
専 門 教 育 科 目	医療 ユニ フ ェ ッ シ ョ ナ リ	医療学入門	1前	○	1		○		※	7			2		9	オムニバス ※実習
		医学概論	1後	○	1		○			5					1	
		行動科学	1後	○	1		○			2			1			
		医学英語Ⅰ	2前	○	1		○			1	1		4		5	
		医学英語Ⅱ	3後	○	1		○			4	2		4		5	
		医学英語Ⅲ	4前	○	1		○			1	1		2		6	
		生命倫理学	3後	○	1		○			1						
		臨床体験実習	3前	○	1			○		1						

科目 区分	授業科目の名称	配当年次	主要授 業科目	単位数			授業形態			基幹教員等の配置						備考
				必 修	選 択	自 由	講 義	演 習	実 験・ 実習	教 授	准 教授	講 師	助 教	助 手	基 幹 教員 以外 の教員	
専門 教育科目	コミュニケーションとチーム医療	4前	○	1			○			1						
	医療の質と安全の管理	4前	○	1			○				1					
	医療プロフェッショナルリズム	4後・6前	○	1			○			1						
	小計(11科目)	—	—	11	0	0	—	—	—	12	3	0	8		21	—
基礎 医学 ユニ ット	ヒトの構造の基礎	1後	○	2			○			2			5		1	※実験 ※講義
	医科分子生物学	2前	○	3			○		※	3	3		4		2	
	生理学	2前	○	3			○			2	3		2			
	生理学実習	2前	○	1					○	2	1		2			
	組織学	2前	○	2						1			3			
	解剖学および解剖学実習	2前	○	5			※		○	1			3			
	放射線基礎医学	2後	○	1			○			1	1		1		1	
	微生物学	2後	○	3			○			2			3		1	
	免疫学	2後	○	3			○			1					4	
	薬理学	2後	○	3			○			1		1	1			
	病理学	2後	○	3			○			2	1		1		1	
	基礎医学統合	2前	○	1			○			2			5			
	小計(12科目)	—	—	30	0	0	—	—	—	13	7	1	18		10	—
器 官 別 ユ ニ ッ ト	成長と発達	3前	○	1			○			2	1				8	
	口腔系	3前	○	1			○			1					6	
	呼吸器系	3前	○	3			○			3	1		3		3	
	耳鼻・咽喉系	3前	○	2			○			1					1	
	皮膚系	3前	○	2			○			1	1				4	
	内分泌・栄養・代謝・乳房	3前	○	3			○			4	1	1	2		7	
	眼・視覚系	3前	○	1			○			2		1	2		3	
	血液・造血器・リンパ系	3前	○	3			○			3					1	
	形成再建・美容系	3通	○	1			○			1		1				
	精神系	3前	○	2			○			1	1				2	
	生殖系	3後	○	2			○			4			1		5	
	循環器系	3前	○	3			○			2	2		3		9	
	運動器（筋骨格）系	3前	○	3			○			2			2		10	
	腎・尿路系疾患	3後	○	2			○			1					1	
	消化器疾患	3後	○	3			○			2	2	1	3		9	
	妊娠と分娩	4前	○	1			○			1	1		1		3	
	神経系	4前	○	3			○			2	1		2		11	
	小計(17科目)	—	—	36	0	0	—	—	—	24	11	4	15		77	—
全 身 横 断 ユ ニ ッ ト	外科学総論	3前	○	1			○			3					5	
	臨床腫瘍	3後	○	1			○			1		1				
	救急医学	3後	○	1			○			1						
	免疫・アレルギー疾患	3後	○	2			○			3	2				5	
	遺伝医学	3後	○	1			○			1					1	
	リハビリ医学	3後	○	1			○			1			1			
	医用工学	3後	○	1			○			4	1				3	
	放射線医学	3後	○	2			○			2	1	1	2		5	
	和漢診療学	3前	○	1			○			1						
	臨床検査医学	3前	○	1			○			1					2	
	臨床医学統合	3後・4後	○	2				○		2			2		1	
	緩和医療	4前	○	1			○			1		1			2	
	老年医学	4前	○	1			○			3	2				2	
	周術期管理学	4前	○	1			○			1			1		6	
	感染症	4前	○	3			○			3	1	1			3	
	小計(15科目)	—	—	20	0	0	—	—	—	20	6	3	6		33	—
基 本 診 療	症候・病態からのアプローチ	4前	○	2			○			1					2	
	基本的診療技能	4前	○	2					○	7	7	2	19		156	
	小計(2科目)	—	—	4	0	0	—	—	—	7	7	2	19		157	—

科目 区分		授業科目の名称	配当年次	主要授 業科目	単位数			授業形態			基幹教員等の配置						備考		
					必 修	選 択	自 由	講 義	演 習	実 験・ 実習	教 授	准 教授	講 師	助 教	助 手	基幹 教員 (助手を除く) 以外の 教員			
専門 教育科目	社会 医学 ユニ ット	疫学	3後	○	1			○			1	1		1					
		環境保健学	3後	○	1			○			1			1					
		診療情報・臨床研究と医療	3後	○	1			○			1					1			
		社会医学実習	4前	○	1			○			1	1		2					
		医学統計	4前	○	1			○			2	1		1					
		法医学	4前	○	2			○			1	1							
		小計(6科目)	—	—	7	0	0	—			4	2	0	2		1	—		
	富山 特色 ユニ ット	和漢医薬学入門	2前	○	1			○		※	1	1				23	オムニバス ※実験		
		富山医療学	3後	○	1			○			1	1							
		医学薬学史	4後	○	1			○			1	1							
		神経・脳科学	4後	○	2			○			12					2			
			小計(4科目)	—	—	5	0	0	—			14	2	0	0		25	—	
	臨床 実習	学 内	第一内科	4通～6通	○	2					○	1	2		3		3		
			第二内科	4通～6通	○	2					○	1	2		3		5		
			第三内科	4通～6通	○	2					○	1	2		1		4		
			血液内科	4通～6通	○	1					○	1							
			皮膚科	4通～6通	○	1					○	1	1				4		
			小児科・新生児	4通～6通	○	2					○	2	1		1		7		
			神経精神科	4通～6通	○	2					○	1	1				1		
			放射線科	4通～6通	○	1					○	2	1	1	2		4		
			検査・輸血細胞治療部	4通～6通	○	1					○	1					1		
			和漢診療科	4通～6通	○	1					○	1	1		1		1		
					脳神経内科	4通～6通	○	1				○						2	
					総合診療科	4通～6通	○	2				○	1						
				第一外科・呼吸器外科	4通～6通	○	2				○	1							
				第二外科	4通～6通	○	2				○	1			1		9		
				脳神経外科	4通～6通	○	1				○	1					1		
				整形外科	4通～6通	○	1				○	1			2		4		
				産科婦人科	4通～6通	○	2				○	1	1		1		6		
				眼科	4通～6通	○	1				○	1		2	2		2		
				耳鼻咽喉科頭頸部外科	4通～6通	○	1				○	1					1		
				泌尿器科	4通～6通	○	1				○	1					1		
				麻酔科	4通～6通	○	1				○	1			2		4		
		歯科口腔外科	4通～6通	○	1				○	1					5				
		救急科	4通～6通	○	2				○	1									
		地域医療	4通～6通	○	1				○	1									
		感染症科	4通～6通	○	1				○	1	1	1							
		腫瘍内科・緩和ケア内科	4通～6通	○	1				○	1		1							
		病理診断科	4通～6通	○	1				○	2			1		1				
		形成再建外科・美容外科	4通～6通	○	1				○	1		1							
		リハビリテーション科	4通～6通	○	1				○	1			1						
		多職種連携	4通～6通	○	1				○	1			2						
		S I M実習	4通～6通	○	1				○	1			2						
		C P C	4通～6通	○	4				○	2			1		1				
		小計(32科目)	—	—	45	0	0	—			31	12	5	23		66			
1 科選 目 択	研究室配属Ⅰ	3前	○		4				○	48	1								
	小計(1科目)	—	—	0	4	0	—			48	1	0	0						
2 科選 目 択	選択制臨床実習	5通～6通	○		12				○	32	18	8	33						
	小計(1科目)	—	—	0	12	0	—			32	18	8	33		142	—			
自由 科目	基礎研究演習	1通～6通				6			○	38	1								
	研究室配属Ⅱ	3前				3				48	1								
	海外医学演習Ⅰ	1通～6通				1				1									
	海外医学演習Ⅱ	1通～6通				1				1									
	海外医学演習Ⅲ	1通～6通				1				1									
		小計(5科目)	—	—	0	0	12	—			48	1	0	0			—		
合計(106科目)			—	—	158	16	0	—			48	25	10	57		296	—		

学位又は称号	学士(医学)	学位又は学科の分野	医学関係
卒業・修了要件及び履修方法			授業期間等
次の履修方法により204単位以上を履修すること。 ・教養教育科目から必修17単位を含む30単位以上 ・専門教育科目の医療プロフェッショナリズムユニットから11単位、基礎医学ユニットから30単位、器官別ユニットから36単位、全身横断ユニットから20単位、基本診療ユニットから4単位、社会医学ユニットから7単位、富山特色ユニットから5単位、臨床実習から45単位、選択科目1から4単位、選択科目2から12単位			1 学年の学期区分
			2 学期
			1 学期の授業期間
			1 5 週
			1 時限の授業の標準時間
			9 0 分

(注)

- 学部等，研究科等若しくは高等専門学校の学科の設置又は大学の学部若しくは大学院の研究科又は短期大学の学科における通信教育の開設の届出を行おうとする場合には，授与する学位の種類及び分野又は学科の分野が同じ学部等，研究科等若しくは高等専門学校の学科（学位の種類及び分野の変更等に関する基準（平成十五年文部科学省告示第三十九号）別表第一備考又は別表第二備考に係るものを含む。）についても作成すること。
- 私立の大学の学部若しくは大学院の研究科又は短期大学の学科若しくは高等専門学校の収容定員に係る学則の変更の認可を受けようとする場合若しくは届出を行おうとする場合，大学等の設置者の変更の認可を受けようとする場合又は大学等の廃止の認可を受けようとする場合若しくは届出を行おうとする場合は，この書類を作成する必要はない。
- 開設する授業科目に応じて，適宜科目区分の枠を設けること。
- 「主要授業科目」の欄は，授業科目が主要授業科目に該当する場合，欄に「○」を記入すること。なお，高等専門学校の学科を設置する場合は，「主要授業科目」の欄に記入せず，斜線を引くこと。
- 「単位数」の欄は，各授業科目について，「必修」，「選択」，「自由」のうち，該当する履修区分に単位数を記入すること。
- 「授業形態」の欄の「実験・実習」には，実技も含むこと。
- 「授業形態」の欄は，各授業科目について，該当する授業形態の欄に「○」を記入すること。ただし，専門職大学等又は専門職学科を設ける大学若しくは短期大学の授業科目のうち，臨地実務実習については「実験・実習」の欄に「臨」の文字を，連携実務演習等については「演習」又は「実験・実習」の欄に「連」の文字を記入すること。
- 「基幹教員等の配置」欄の「基幹教員等」は，大学院の研究科又は研究科の専攻の場合は，「専任教員等」と読み替えること。
- 「基幹教員等の配置」欄の「基幹教員以外の教員（助手を除く）」は，大学院の研究科又は研究科の専攻の場合は，「専任教員以外の教員（助手を除く）」と読み替えること。
- 課程を前期課程及び後期課程に区分する専門職大学若しくは専門職大学の学部等を設置する場合又は前期課程及び後期課程に区分する専門職大学の課程を設置し，若しくは変更する場合は，次により記入すること。
 - 各科目区分における「小計」の欄及び「合計」の欄には，当該専門職大学の全課程に係る科目数，「単位数」及び「基幹教員等の配置」に加え，前期課程に係る科目数，「単位数」及び「基幹教員等の配置」を併記すること。
 - 「学位又は称号」の欄には，当該専門職大学を卒業した者に授与する学位に加え，当該専門職大学の前期課程を修了した者に授与する学位を併記すること。
 - 「卒業・修了要件及び履修方法」の欄には，当該専門職大学の卒業要件及び履修方法に加え，前期課程の修了要件及び履修方法を併記すること。
- 高等専門学校の学科を設置する場合は，高等専門学校設置基準第17条第4項の規定により計算することのできる授業科目については，備考欄に「☆」を記入すること。